

98M  
M

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 5<sup>m</sup> 0 1 2 3 4 5

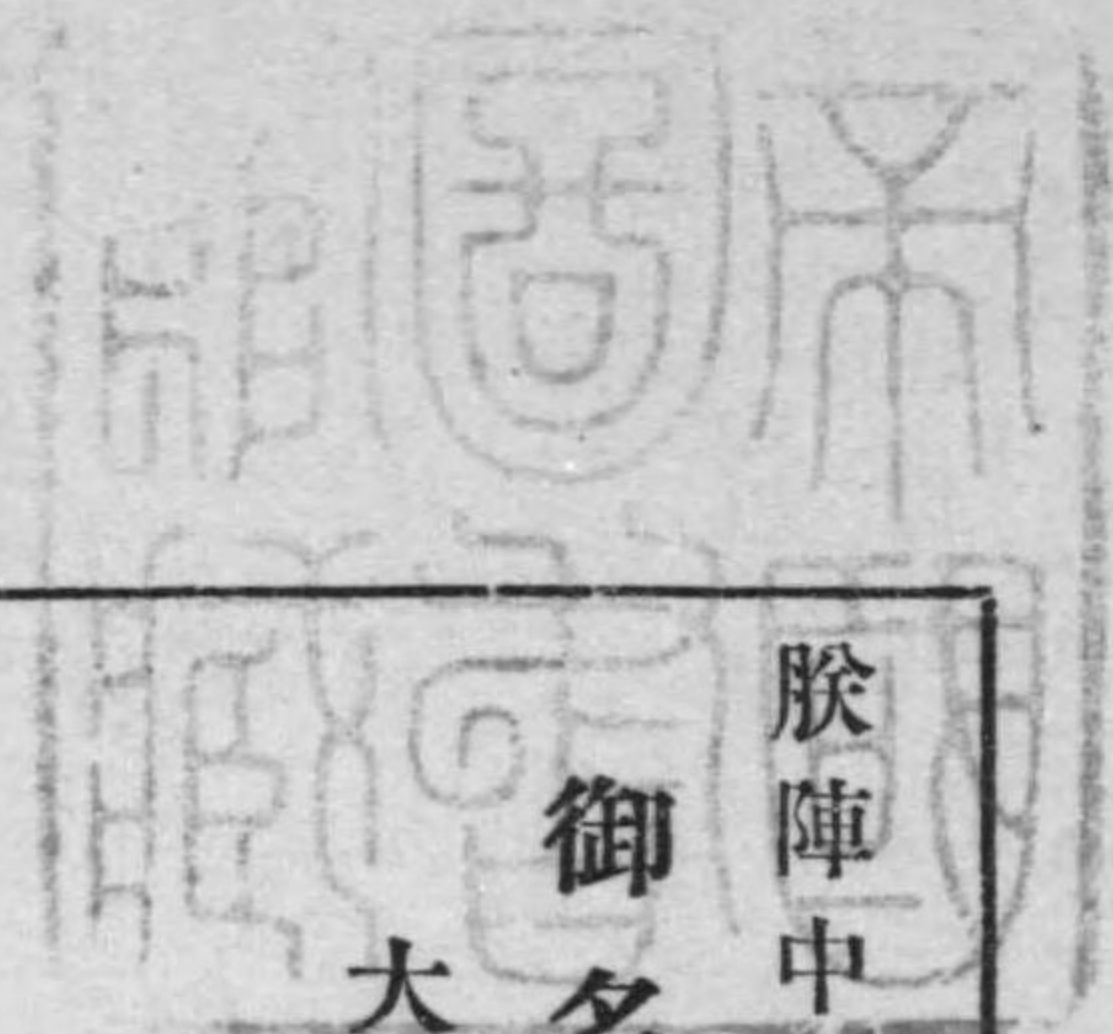
始





266

318  
286



朕陣中要務令ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名 御璽

大正三年六月五日

陸軍大臣 岡市之助



大正

3. 6. 13

内交



軍令陸第六號  
陣中要務令



陣中要務令  
軍令部第六號

朕茲ニ陣中要務令ヲ裁定ス  
本令ハ陣中勤務ノ準據ヲ示ス之ヲ百般  
ノ時機ニ施シテ變通宜キヲ制スルハ一  
ニ運用ニ俟タサル可カラス事ニ當ル者  
ハ能ク此意ヲ體シ以テ本令ノ主旨ヲ完  
ウセンコトヲ期スヘシ



# 陣中要務令目次

綱領	.....	一頁
第一篇 戰鬥序列 軍隊區分	.....	一一
第二篇 部隊間ノ連繫	.....	一三
第一章 命令	.....	一三
一 通則	.....	一三
二 作戰命令、日々命令	.....	一四
三 記述及下達法	.....	一五
第二章 通報、報告	.....	二一



一通則	二一
二 記述法	二五
三 戦闘ニ關スル報告	二七
四 要圖、寫景圖、寫真	二九
第三章 命令、通報及報告ノ傳達	三一
一 通則	三一
二 傳令及遞傳哨	三四
三 傳令ニ關スル注意	四一
第四章 文書記述ノ通則	四五
第三篇 搜索及諜報勤務	五三

第一章 通則	五三
第二章 騎兵ヲ以テスル搜索	五八
一 騎兵集團及騎兵旅團	五八
二 師團騎兵	六〇
三 斥候	六一
第三章 騎兵以外ノ兵種ヲ以テスル搜索	六六
第四章 諜報勤務	六九
第四篇 警戒勤務	七三
第一章 通則	七三
第二章 行軍ノ警戒	七四



一 要領	七五
二 前衛	七五
イ 前進行ノ前衛	七六
ロ 側敵行及退却行ノ前衛	八四
三 側衛	八五
イ 側敵行ノ側衛	八五
ロ 前進行及退却行ノ側衛	八七
四 後衛	八九
イ 退却行ノ後衛	八九
ロ 前進行及側敵行ノ後衛	九二

第三章 前哨

一 要領	九二
二 行軍前哨	九五
イ 通則	九六
ロ 行軍警戒ト駐軍警戒ト相互ノ轉移	一〇〇
ハ 前哨司令官及前哨本隊	一〇六
ニ 前哨中隊	一〇八
ホ 小哨	一一一
ヘ 歩哨	一一八
ト 斥候、巡察	一二三



三 戰鬪準備前哨	一二六
四 獨立セル騎兵ノ前哨	一三一
第五篇 行軍	一三九
第一章 通則	一三九
第二章 行軍ノ種類	一四〇
第三章 行軍隊形	一四二
第四章 行軍準備	一四六
第五章 行軍序列	一四九
第六章 行軍實施	一五二
第七章 休憩	一六八

第六篇 宿營

第一章 通則	一七三
第二章 舍營	一七六
一 配宿	一七六
二 勤務員及其任務	一七九
三 設備	一八二
四 警急集合場	一八六
五 警備	一八八
第三章 露營	一九七
一 配宿	一九七



二 勤務員及其任務……………二〇一

三 設 備……………二〇三

四 露營中諸兵ノ動作……………二〇五

五 警 備……………二〇五

第四章 村落露營……………二〇八

第五章 獨立セル騎兵ノ宿營……………二一〇

第七篇 行李輜重……………二一三

第一章 通 則……………二一三

第二章 行 李……………二一五

第三章 輜 重……………二二〇

第八篇 給 養……………二二一

第九篇 衛 生……………二三五

第一章 隊屬衛生人員及材料……………二三五

第二章 駐軍間ノ勤務……………二三六

第三章 行軍間ノ勤務……………二三七

第四章 戦闘間及戦闘後ノ勤務……………二三八

第五章 赤十字徽章……………二四四

第十篇 馬匹衛生……………二四七

第一章 馬匹衛生人員及材料……………二四七

第二章 駐軍間ノ勤務……………二四八



第三章	行軍間ノ勤務	二四九
第四章	戦闘間及戦闘後ノ勤務	二五〇
第十一篇	彈藥補充	二五三
第十二篇	通信	二五七
第一章	通則	二五七
第二章	有線電信及電話	二六二
第三章	無線電信及視號通信	二六五
第四章	通信實施	二六六
第五章	通信網ノ破壊	二六九
第十三篇	鐵道	二七一

第一章	輸送	二七一
一	通則	二七一
二	乘下車	二七五
三	運行中ノ心得	二八九
四	給養	二九二
第二章	破壊、修理及保全	二九四
第十四篇	船舶輸送	二九九
第一章	通則	二九九
第二章	乗船、上陸	三〇二
第三章	航海中ノ心得	三一四



第四章 給養	三二〇
第十五篇 兵站	三二三
第十六篇 憲兵	三三三
第十七篇 戦闘詳報 陣中日誌 留守日誌	三三七
第一章 戦闘詳報	三三七
第二章 陣中日誌、留守日誌	三四一
附 録	
第一 軍司令部旗及師團司令部旗	
第二 遞傳簿ノ様式	
第三 通信紙及封筒ノ様式	

第四 行軍長徑概數	
第五 集合ニ要スル幅員概數	
第六 橋梁哨勤務	
第七 縦列材料ヨリ成ル全形舟及門橋ノ搭載量並之ニ依ル 乗船上陸法	
第八 各兵種露營ノ隊形範例	
第九 電信通信實施ニ關スル注意	
第十 兵站線路上諸機關配置圖例	
第十一 戦闘詳報附表(死傷表、鹵獲表、武器彈藥損耗表)	
陣中要務令目次終	





陣中要務令

綱領

- 一 軍ノ主トスル所ハ戦闘ナリ故ニ凡百ノ事皆  
戦闘ヲ以テ基準ト爲スヘシ
- 二 軍ハ軍紀ヲ以テ成ル其消長ハ勝敗ノ由テ歧  
ル所タリ軍紀常ニ嚴肅ナラサル可カラス而シ



テ軍紀ノ要素ハ服従ニ在リ全軍ヲシテ至誠上長  
ニ服従シ其命令ヲ確守スルヲ以テ第二ノ天性ト  
爲サシムルヲ要ス

三 命令ノ實施ニハ獨斷ヲ要スル場合尠カラス  
蓋シ兵戰ノ事タル其變遷測リ難ク命令ノ指示情  
況ノ變化ニ伴ハサルコトアリ此ノ如キ場合ニ於  
テハ受令者自ラ其目的ヲ達シ得ヘキ方法ヲ探リ

獨斷專行以テ機會ニ投セサル可カラス然レトモ  
獨斷專行ハ應變ノ道ニシテ常經ニ非サルナリ漫  
ニ發令者ノ意圖以外ニ脫逸ス可カラス  
四 典則ハ運用ヲ待ツテ始メテ其光彩ヲ發揮ス  
而シテ運用ノ妙ハ人ニ存ス人々宜ク身ヲ以テ責  
ニ任シ機宜ニ應シ之ヲ活用スヘシ固ヨリ濫ニ典  
則ニ乖ク可カラス又之ニ拘泥シテ實效ヲ誤ル可



カラス

**五** 軍務ハ多端ナリ是レ各級指揮官ヲシテ各其  
 任務ヲ分擔セシムル所以ナリ故ニ各級ノ指揮官  
 ハ一般ノ目的ト其任務トニ稽ヘ専ラ心力ヲ職責  
 ノ在ル所ニ竭シ他ノ補助ニ倚頼スルコトナク毅  
 然トシテ其任務ヲ全ウスルコトニ努ムヘシ此ノ  
 如クニシテ後全軍ノ協同一致得テ期スヘキナリ

**六** 統帥ノ要訣ハ軍隊ヲシテ常ニ百般ノ準備ヲ  
 整ヘ命令一タヒ下レハ勇往邁進シテ忠愛ノ至誠、  
 精銳ノ技能ヲ發揚シ自ラ信シテ優秀ナル成功ヲ  
 期待セシムルニ在リ而シテ情況ヲ達觀シテ明斷  
 果決、敏活ニ處置スルハ又部下ノ自信ヲ鞏固ナ  
 ラシムル要件トス

**七** 爲ササルト遲疑スルトハ指揮官ノ最モ戒ム



へキ所ト爲ス苟モ之ヲ爲シ之ヲ斷行セハ縱ヒ其方法ヲ誤ルモ尙爲ササルト遲疑スルトニ勝ル蓋シ此兩者ノ軍隊ヲ危殆ニ陥ルルコト寧ロ方法ヲ誤ルヨリモ甚シキモノアレハナリ

八 將校及下士ノ一舉一動ハ悉ク部下ノ模範タリ慎マサル可カラス殊ニ劍電彈雨滿目悽愴ノ間ニ立チテ沈著機ニ處シ泰然トシテ動力サルトキ

ハ森嚴ナル威容自ラ外ニ顯ハレテ部下ノ屬望ヲ繫持シ以テ其志氣ヲ作興シ成功ノ因ヲ固ウスルヲ得ヘシ平生修養セサル可カラス

九 軍人ハ廉耻ヲ重ンセサル可カラス廉耻ハ軍人ノ精神ヲ維持スルモノナリ能ク其膽力ヲ補ヒ怯懦ヲ去リ死生ノ地ニ從容タラシム故ニ上將校ヨリ下兵卒ニ至ル迄常ニ此心ヲ保有シ上下共ニ



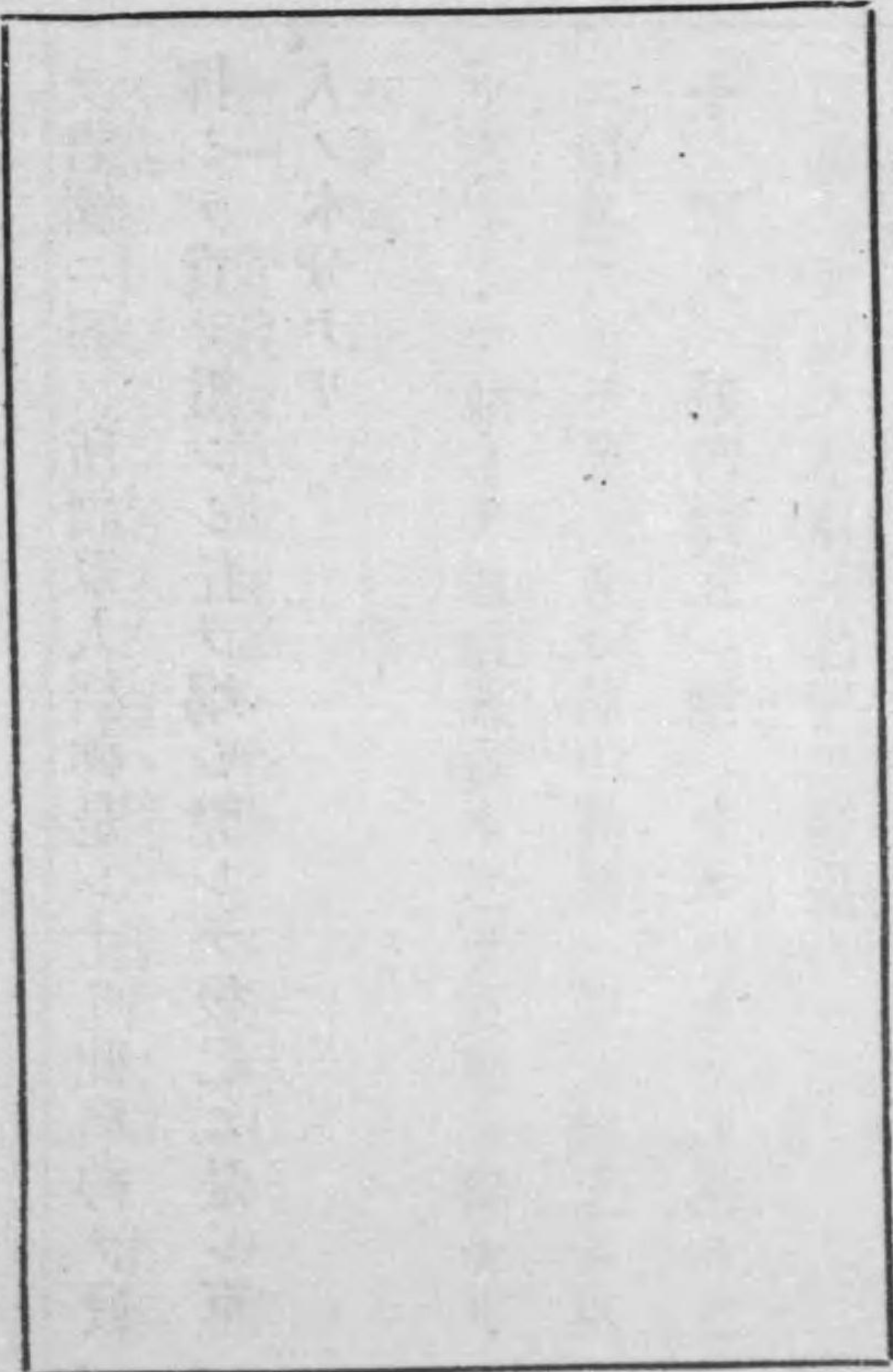
切磋シテ以テ全軍ノ名譽ヲ發揚スヘシ

十 軍人ハ艱苦缺乏ニ耐ヘサル可カラス常ニ之ニ慣熟スルヲ要ス夫レ陣中勤務ハ艱苦缺乏ニ克ツ者ニシテ始メテ敏活確實ニ之ヲ實施シ得ルモノトス

十一 實敵及危險悲慘ハ平時之ニ親炙スルヲ得ス然レトモ之ニ克ツノ道ハ則チ有リ大節ヲ守リ

テ君國ニ盡ス所謂軍人精神是レナリ此精神ヲ發揮シテ責ヲ重ンシ任ヲ竭シ斃レテ後已ム是レ軍人ノ本分ナリ



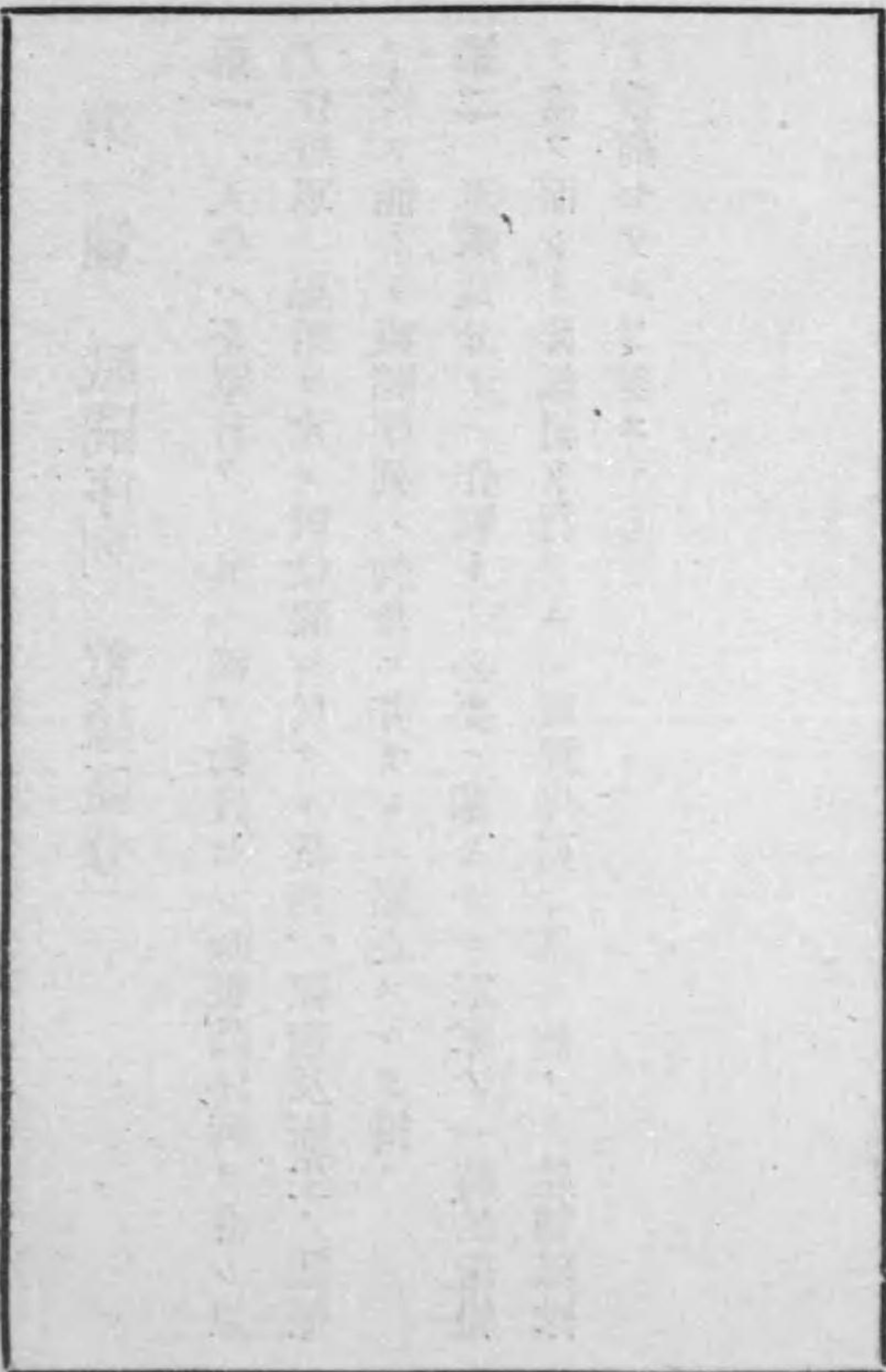


第一篇 戰鬪序列 軍隊區分

第一 天皇ハ全軍若クハ其一部ヲ動員セシ時戰鬪序列ヲ令シ以テ作戰軍ノ編組ヲ定メ戰役間ニ於ケル統御、經理及衛生ノ關係ヲ律ス而シテ戰鬪序列ハ勅命ニ非サレハ變更スルヲ得ス

第二 軍隊區分トハ作戰上ノ必要ニ基キタル軍隊ノ一時的編組ヲ謂フ而シテ此編組ヲ行フニハ戰鬪序列ニ基キ勉メテ建制部隊ヲ分割セサルヲ要ス





## 第二篇 部隊間ノ連繫

### 第一章 命令

#### 一 通則

**第三** 命令ハ簡明確切ニシテ且ツ受令者ノ識量ト性質トニ適應セサル可カラス而シテ命令ニハ目的ヲ達スル爲メ受令者ノ自ラ處斷スル能ハサル必要ノ事項ヲ示スヲ要ス

**第四** 命令ニハ臆測ヲ爲シ將來ヲ希望シ又ハ之ヲ命シタル理由ヲ示シ或ハ種々未然ノ形勢ヲ擧ケテ一々之ニ應スル處置法ヲ定ムルカ如キハ宜シク之ヲ避クヘシ



**第五** 命令ハ其實行ニ至ル迄ニ情況ノ變遷測リ難キ時又ハ發令者情況ヲ豫知スル能ハス受令者ヲシテ現況ニ應シテ施行セシムヘキ時ニハ殊ニ單簡ニシテ細事ニ涉ラサルヲ要ス此ノ如キ場合ニ於テハ訓令ヲ下スヲ適當トスルコトアリ

訓令ハ受令者行動ノ範圍ヲ制限スルコトナク全ク其實施ノ方法ヲ受令者ニ委任スルモノトス故ニ訓令ニハ全般ノ企圖及受令者ノ達成スヘキ目的ヲ明示スルコト特ニ緊要ナリ然レトモ受令者ノ識量ニ應シ要スレハ行動ノ準據ト爲ルヘキ大綱ヲ指教スルコトアリ

### 二 作戰命令、日々命令

**第六** 作戰命令ハ軍隊ノ作戰行動ヲ規定スルモノニシテ各團隊ノ稱號ヲ冠シ(某師團命令、某旅團命令等)或ハ軍隊區分ニ依リテ成リタル部隊等ノ名稱ヲ冠ス(前衛命令、前哨命令、某支隊命令等)

**第七** 日々命令ハ軍隊ノ内務、人事、人馬補充、戰場掃除、俘虜ノ取扱、雜役勤務等直接作戰ニ關係セサル事項ヲ規定スルモノニシテ團隊等ノ稱號ヲ冠ス(某師團日々命令、某旅團日々命令、某支隊日々命令等)

### 三 記述及下達法

**第八** 作戰命令ヲ記述スルニハ概ネ左ノ列次ニ從フヲ可トス



敵軍及友軍ノ情況 但シ受令者ノ爲メニ緊要ナルモノニ限ル  
指揮官ノ決心 但シ受令者ニ傳フルヲ要スルモノニ限ル  
軍隊區分ニ依リテ成立セシ各部隊ノ任務  
大行李及輜重ニ關スル事項 但シ軍隊ニ必要ナルモノニ限ル  
發令者ノ所在地又要スレハ報告送達ノ場所  
軍隊區分ヲ列記スルニハ之ヲ命令詞ノ上欄或ハ別紙ニ記載スル  
ヲ通常トス但シ軍隊區分單簡ナルトキハ之ヲ命令詞中ニ記入ス  
ルヲ便トス

軍隊區分ニハ部隊號ヲ步兵、騎兵、砲兵、工兵、電話隊、電信  
隊、衛生隊、架橋縱列等ノ順序ニ列記シ指揮官ノ指示ヲ要スル

トキハ之ヲ部隊號ノ前ニ掲クルモノトス

軍隊區分ト共ニ本隊ノ行軍序列ヲ規定セントスルトキハ軍隊區  
分中本隊ノ標題ノ下ニ「同行軍序列」ノ五字ヲ附記シ之ニ括弧ヲ  
加ヘ而シテ部隊號ヲ行軍序列ニ從ヒ列記スヘシ

補給、衛生勤務、輜重ノ行動及通信等ニ關スル事項ハ通常別ニ  
之ヲ命令シ以テ一般軍隊ノ行動ニ關スル命令ヲ補足スルモノトス  
**第九** 命令ヲ記述スルニハ徒ニ形式ニ拘泥スルコトナク受令者  
ヲシテ發令者ノ意圖ヲ容易且ツ明瞭ニ了解セシメ得ルヲ以テ主  
眼トスヘシ

命令ハ條ヲ分チ數字（一、二、三等）ヲ附シテ列記スルヲ可トス而



シテ一事件ニ關係スルモノハ一條中ニ記載スヘシ

第十 命令ハ筆記又ハ印刷シテ之ヲ付與シ或ハ口上若クハ電信、電話等ニ依リ下達ス

口達スル場合ニ於テ命令ノ長キカ又ハ重要ナルトキハ受令者ヲシテ筆記セシムルモノトス但シ騎兵斥候等ニ與フル命令ニ在リテハ我目的、行動等ニ關スル事項ハ成ルヘク之カ筆記ヲ避ケ若シ筆記シタル場合ニ於テハ受令者ノ了解スルト同時ニ之ヲ破棄セシムヘシ

我軍ノ行動、配備等ニ關スル命令其他之ニ類スル事項ハ受令者ヲシテ濫ニ地圖上等ニ記載若クハ描畫セシム可カラス

第十一 時ノ情況ニ依リ各部隊ニ合同ノ命令ヲ與ヘ（合同命令）或ハ其全部又ハ一部ニ各別ノ命令ヲ下ス（各別命令）而シテ其何レノ方法ニ依ルモ常ニ各部隊ノ協同動作ニ必要ナル事項ヲ具備セシムルコト肝要ナリ

第十二 命令ハ之カ記述ニ長時間ヲ要シ且ツ受令者其實行迄ニ準備ヲ要スル顧慮アル時或ハ軍隊ヲシテ速ニ所要ノ位置ニ就カシムルヲ利アリトスル場合等ニ在リテハ先ツ各別ニ其要旨ノミヲ下達シ後完全ナル命令ヲ付與スルヲ可トス

第十三 凡テ命令ハ各司令部或ハ軍隊區分ニ依リテ成立セル各部隊自ラ之ヲ作り其目的ニ適スル如ク必要ノ事件ノミヲ示スモ



ノトス然レトモ翌日ニ關スル各部隊ノ行動ヲ規定セル師團命令ハ其全文ヲ師團内ノ各部隊ニ知ラシムルヲ可トスルコトアリ之カ爲メ該命令ヲ各下級部隊迄付與スル如ク印刷分配スルトキハ其傳達ヲ迅速容易ナラシメ得ルモノトス而シテ此場合ニ在リテハ各部隊長ハ通常唯軍隊集合ノ爲メ單簡ナル命令ヲ下スノミニシテ其他ハ凡テ翌日集合場ニ於テ命令スルモノトス

**第十四** 若シ退軍ヲ爲ス場合ノ處置ヲ豫メ命スルヲ要スルトキハ唯必要ナル指揮官ニノミ之ヲ傳へ而シテ他言ヲ誠ムヘシ

**第十五** 重要ナル命令ノ筆記ハ勉メテ將校自ラ之ニ當リ又其印刷ハ必ス將校ノ監視下ニ於テシ誤刷紙ノ燒却及原稿ノ保管ヲ確

實ニシ以テ軍機ノ漏洩ヲ防クヘシ  
命令ノ控ニハ下達セル方法及部隊號ヲ記シ尙要スレハ下達ヲ終リタル時刻ヲモ記載シ置クヲ可トス

## 第二章 通報、報告

### 一 通則

**第十六** 凡ソ情況ノ判斷ニシテ正鵠ヲ得サレハ命令及其實施ヲ時機ニ適合セシムル能ハス故ニ情況ヲ審ニスルヲ緊要トス  
情況ヲ判斷スルニハ敵ヲ探偵視察シテ得タル情報ト他ノ諸徵候等ヨリ得タル認識推測ヲ集メテ成レル證迹トヲ以テスルヲ最モ確



實ナルモノトス故ニ各部隊長ハ部下團隊ノ報告並搜索及諜報勤務ニ依リテ得タル情況ヲ審査シテ自己ノ狀態ト共ニ之ヲ上級指揮官ニ報告シ且ツ部下團隊及比隣部隊ニ通報スルヲ肝要トス又此目的ノ爲メ高等司令部ハ互ニ通報將校ヲ派遣スルヲ可トス

**第十七** 斥候、前方ニ派遣セラレタル諸隊、警戒隊、各級指揮官及各司令部ハ其上官ヲシテ成ルヘク速ニ且ツ廣ク情況ヲ知得セシメンカ爲メ任務ノ遂行ニ必要ナル範圍内ニ於テ敵情ノ偵知、視察ヲ勉メサル可カラス而シテ其報告ノ送達ヲシテ確實且ツ迅速ナラシムルコト肝要ナリ

**第十八** 他部隊ノ近傍ニ新ニ到着シタル部隊ハ適時ニ其旨ヲ該

部隊ニ通報スヘシ特ニ交戰中ノ軍隊ニ接近セシ際ニ於テ此通報ヲ必要トス

**第十九** 敵ノ行進路、部隊殊ニ其歩兵ノ到達シタル地點、宿營地、陣地及前哨線ノ位置並其兩翼ヲ速ニ探知スルハ指揮官ノ爲メ特ニ緊要ナル事項トス又某地方ニ於テ未タ敵兵ヲ發見セサルコトヲ知ルモ亦指揮官ノ爲メニ往々緊要ト爲スコトアリ其他爾後ノ探偵ニ依リテ既往ノ情報ヲ確實ニシ又一定ノ時間中ニ於ケル形勢變化ノ有無ヲ報告スル等大ニ價值アルモノトス

**第二十** 報告ノ時機ハ情況ニ依リ一定シ難シト雖モ初メテ敵ヲ發見シタル時、有力ナル部隊殊ニ歩兵ト遭遇シタル時、敵ノ占



領ヲ豫想シタル陣地等ニシテ敵ノ未タ之ヲ占領セサル時及某目的又ハ一任務ヲ達成シタル時等ニハ必ス報告スヘキモノトス

**第二十一** 火急ノ場合ニ於テハ直屬上官ニ報告スルト同時ニ更ニ高級ノ指揮官ニモ報告スヘシ又危険ノ迫レル軍隊ニハ先ツ直ニ之ヲ通報シテ後直屬上官ニ報告スヘシ

**第二十二** 地形ニ關スル報告ハ常ニ重要ナル價值ヲ有スルモノトス故ニ報告ニハ其要求ナキ時ト雖モ成ルヘク之ヲ附加スルヲ可トス

**第二十三** 自己ノ状態及爾後ノ企圖ニ關スル事項ハ上級指揮官ヲシテ其畫策ヲ適當ナラシメ比隣部隊ヲシテ協同動作セシムル

爲メ必要ナルヲ以テ他ノ通報、報告事項ニ之ヲ附加スルノミナラス要スレハ特ニ之ヲ通報若クハ報告スヘシ

### 一一 記述法

**第二十四** 通報、報告ノ記述法ニハ一定ノ方式ヲ設クルコトナシ但シ本令第九命令記述ニ關スル規定ハ通報、報告ノ記述ニモ亦適用スヘキモノトス

**第二十五** 報告ヲ記スルニハ報告者自ラ目撃セシコトト他人ノ實見セシコトト他人ノ聞知セシコトト又唯推測ニ係ルコトトヲ判然區別シ受報者ノ判斷ニ便ニスヘシ但シ推測ニ係ルコトトハ往々受報者ニ意外ノ印象ヲ與フルコトアルヲ以テ常ニ其理由ヲ附



記スルヲ要ス

敵兵ニ關スル通報、報告ニハ其兵種、員數、時刻、先頭或ハ後尾等ノ位置及動作ヲ記スルコト肝要ナリ又單ニ優勢ナル敵兵或ハ敵ノ大縱隊ト記シ若クハ之ニ類似セル漠然タル語句ヲ用フルトキハ誤解ヲ生シ易キヲ以テ勉メテ之ヲ避クルヲ要ス

部下ヨリノ報告ヲ更ニ上級指揮官ニ報告スルニハ必ス原報告發送ノ時刻、地點及發送者ヲ記入スヘシ但シ原報告ヲ轉送スルトキハ自ラ點檢セシ時刻ヲ記入シ署名スヘシ

**第二十六** 同時ニ諸方ニ報告スル場合ニハ其報告ニ諸方ヘ報告セシコトヲ記載スヘシ又其報告急ヲ要スルカ爲メ中間指揮官ヲ

省カサルヲ得サルトキハ此指揮官ニハ成ルヘク速ニ別ニ之ヲ報告シ高級ノ位置ニハ既ニ報告セシコトヲ附記スルコト緊要ナリ

### 三 戦闘ニ關スル報告

**第二十七** 戦闘ハ情況判斷ノ爲メ確實ナル憑據ヲ與フルノミナラス指揮官ト軍隊トノ連繫ハ特ニ戦闘間ニ於テ必要トス故ニ交戰中ノ部隊ハ絶エス報告ヲ上官ニ呈スヘシ

**第二十八** 一部ノ戦闘局ヲ結ヒタル時期並戦闘數日ニ涉ルトキハ毎日規定セラレタル時刻ニ於テ各部隊長ハ左ノ事項中必要ト認メシ件ヲ蒐録シテ報告ヲ記述シ之ヲ直屬上官ニ呈スヘシ此報告ヲ戦闘要報ト稱ス



戦闘前彼我形勢ノ概要、戦闘地ノ状態、彼我ノ兵力、敵兵ノ  
部隊號、戦闘經過ノ概要、主要ナル時機ニ於テ目撃セシ隣接  
部隊ノ動作、彼我ノ情況及敵兵退却ノ方向、追撃ノ爲メ施行  
シタル方法、彼我損害ノ概數、消費彈藥及要スレハ殘餘彈藥  
ノ概數、戦闘後敵ノ爲スヘキ行動ヲ判斷シ之ニ對シ戦闘後或  
ハ翌日我ノ爲サント欲スル行動等

戦闘要報ニハ爲シ得レハ各時期ニ於ケル彼我ノ位置ヲ明カニセ  
ル要圖ヲ添附スルヲ可トス

戦闘要報ハ上級ノ指揮官ヲシテ爾後ノ戦闘若クハ戦闘直後ノ指  
揮ヲ適當ナラシムル爲メ極メテ必要ナルモノニシテ呈出時刻遷

延スルトキハ其價值ヲ減ス故ニ前掲事項ノ完備ニ拘泥スルコト  
ナク又部下部隊ノ報告ヲ待ツコトナク速ニ先ツ自己ノ報告ヲ呈  
出シ後漸次之ヲ補修スヘシ

#### 四 要圖、寫景圖、寫眞

第二十九 要圖、寫景圖及寫眞ハ通報及報告文等ノ煩雜ナル字  
句ヲ省キ或ハ其意ヲ補足シ得ルコト多シ

第三十 要圖ハ概ネ迅速ニ之ヲ製セサル可カラス故ニ目的以外  
ニ屬スル不要ナル諸件ハ凡テ之ヲ省略シ單ニ必要ノ符號、事項  
並關係位置等ヲ記載スルニ止ムルモノトス

凡ソ要圖ノ價值ハ簡約ニシテ時機ニ適應スルニ在リ故ニ必スシ



モ梯尺ニ據ルヲ要セス距離及尺度ノ如キハ數字ヲ註記スルヲ簡明トスルコトアリ(例ヘハ河流某點ニ註記シテ幅何米ト書シ又兩村落間ノ距離ヲ示スニ兩者間ヲ線或ハ片括弧ニテ連結シ其側ニ何吉米ト記スルカ如シ)

**第三十一** 要圖ニ依リテ地圖ノ不完全ナル部ヲ補修シ又ハ偵察セシ現地ノ景況ヲ示シ或ハ築設構造物ノ設計ヲ現ハス場合等ニハ比較的詳密ニシテ正測圖ニ近キ描畫ヲ爲スモノトス

**第三十二** 寫景圖及寫真ハ地區地物ノ形狀又ハ築設物構造ノ大要ヲ知得シ易カラシムルモノニシテ之ヲ要圖ト併用セハ現地ノ狀態ヲ認定スルニ甚タ便ナリ又地圖ナキ地方ニ於ケル地點ノ指

示等ニ利用シ效益多キモノトス而シテ寫景圖及寫真ニハ其物體ノ名稱及之ヲ描寫又ハ撮影シタル位置トノ關係ヲ明示スルヲ要ス

### 第三章 命令、通報及報告ノ傳達

#### 一 通 則

**第三十三** 高等司令部ノ所在地ハ傳令ヲシテ常ニ發見ヲ容易ナラシムル方法ヲ講スヘシ之カ爲メ軍司令部及師團司令部ニハ要スルニ方リ各規定ノ司令部旗(附錄第一參看)ヲ植ツルヲ可トス而シテ之ヲ植ツルニ際シテハ敵眼ヲ避クルコトニ注意スルヲ要ス



各指揮官ハ數、其位置ヲ變更スルヲ避クヘシ而シテ若シ之ヲ變更セシトキハ諸報告ヲ迅速正確ニ轉送セシムヘキ方法ヲ講スルコトヲ怠ル可カラズ

大部隊ニ在リテハ報告收集所ヲ設クルヲ有利トスルコトアリ其位置ハ前方ヨリ來ル傳令甚シキ迂路ヲ取ルコトナキ道路ノ輻湊點ニ設ケ其人員ハ其位置及遞送スヘキ道路安全ノ度ニ應シ之ヲ定メ又其長ニハ現時一般ノ情況ニ明カナル將校ヲ選ヒ之ニ任スヘシ此將校ハ到著セル報告ヲ點檢シ其重要ノ程度如何ニ基キ更ニ之ヲ轉送スヘキ時刻ト方法トヲ定ムルモノトス情況ニ依リ數多ノ報告ヲ綜合シテ傳達スルヲ以テ足レリトスルコトアリ

**第三十四** 命令、通報及報告ハ距離ノ遠近ト其他ノ景況トニ從ヒ電信、電話、視號ヲ用ヒ又ハ自轉車、自働車、航空機、乘馬若クハ徒歩ノ傳令ニ依リ筆記、印刷若クハ口上ヲ以テ傳達ス電話又ハ視號若クハ口上ヲ以テ傳達セラレタル重要ナル命令、通報及報告ハ受領者ニ於テ之ヲ筆記シ且ツ傳達者ノ氏名ヲ附記スルモノトス

**第三十五** 急ヲ要セサル命令等ヲ傳達スルニハ爲シ得レハ日々一定ノ時刻ヲ規定シ各部隊ヨリ命令受領者ヲ出サシメ此機會ニ於テ所要ノ通報、報告ヲモ併セ行ハシムルヲ可トス而シテ此方法ハ通常永キ駐軍ノ際ニ於テ採用スヘキモノトス



**第三十六** 電信、電話ハ屢、不通ト爲ルコトアリ故ニ重要ナル命令、通報及報告ハ縦ヒ其通信確實ト思惟スル時ト雖モ之ト同時ニ筆記シテ別ニ之ヲ送致スルヲ必要ト爲スコトアリ

**第三十七** 電信、電話及視號通信ノ使用ニ關シテハ第十三篇ヲ參看スヘシ

二 傳令及遞傳哨

**第三十八** 高等司令部ニハ要スルトキハ命令傳達ノ補助トシテ傳令將校、傳令騎兵ヲ置クモノトス

歩兵聯隊及支隊等ノ本部ニモ亦傳令ニ要スル人員ヲ臨時又ハ豫メ準備シ置クモノトス

戰鬪ヲ豫期シタル前進中ニ於テハ命令傳達ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ下級部隊ノ副官等ヲ一時高等司令部ニ招致シ置クコトヲ得但シ戰鬪開始後ニ於テハ之ヲ招致シ置クヲ許サス

**第三十九** 前條ニ掲クル司令部等ハ傳令騎兵ヲ取ルニ際シ勉メテ騎兵隊ノ戰鬪力ヲ減殺セサルコトニ注意スヘシ又傳令騎兵其勤務ヲ終リタルトキハ成ルヘク速ニ之ヲ原隊ニ復歸セシムヘシ

地形險難ナルカ或ハ傳令騎兵缺乏ノトキハ所要ニ從ヒ徒歩傳令ヲ以テ傳令騎兵ニ代ヘ若クハ之ヲ補フモノトス之カ爲メ各部隊ハ豫メ脚力強健ニシテ且ツ性質剛膽、敏捷ナル下士兵卒若干ヲ選拔シテ其用ニ充ツルノ準備アルヲ要ス



**第四十** 道路良好ナルトキハ命令、通報及報告ノ傳達ニハ主トシテ自轉車ヲ用フルヲ可トス又自働二輪車若クハ乗用自働車ヲ使用スルコトヲ得ハ遠距離ト雖モ傳達ヲシテ迅速ナラシムルヲ得ヘシ故ニ高等司令部ニハ所要ニ應シ自轉車、自働車ヲ準備シ置クモノトス

**第四十一** 傳令騎兵及徒步傳令ハ時機之ヲ許セハ輕裝セシメ以テ行動ヲ容易ナラシムヘシ

**第四十二** 距離遠大ナル兩地間ニ通信頻繁ニシテ而カモ電信、電話等ノ通信確實ナラサルトキハ騎兵、自轉車若クハ自働二輪車ヲ以テ遞傳哨ヲ設クルヲ利トスルコトアリ但シ遞騎哨ハ騎兵

隊ノ兵員ヲ減スルヲ以テ情況他ノ遞傳哨ヲ用フル能ハサル時ニ於テノミ之ヲ設クルモノトス此場合ニ於テモ重要ナル命令、通報及報告ハ騎術熟練ニシテ且ツ良馬ヲ有スル傳令將校ヲシテ送達セシムレハ其路程遠シト雖モ其速度遞騎ニ異ラスシテ而カモ其送達確實ナルコトニ顧慮スヘシ

**第四十三** 遞傳哨ノ人員及其相互間ノ距離ハ交通ヲ保タントスル時間ノ長短、豫想スル通信ノ繁閑、交通路及哨所ノ安否等ニ依リテ差違アルモノトス而シテ其人員ハ哨長(通常下士)ノ外遞騎哨ニ在リテハ通常兵卒三乃至六人遞自轉車、遞自働車哨ニ在リテハ三人以上トス又各哨相互間ノ距離ハ遞騎哨ニ在リテハ十



乃至十五吉米遞自轉車、遞自働車哨ニ在リテハ二十乃至三十吉米ト爲スモノトス而シテ遞傳哨ハ常ニ其傳送スル所ノ書簡ヲ受領シ速ニ之ヲ轉送スルノ準備ヲ爲シアルヘシ

遞傳哨ノ位置ハ民心疑ハシキ大村落等ヲ避ケ通常遞傳線路ニ接シタル獨立家屋等ニ選定シ情況ニ應スル警戒法ヲ設ケ常ニ敵襲ニ際シテノ處置ヲ準備シ且ツ絶エテ書簡ノ往復ナキ時ト雖モ隣哨ト連絡ヲ保持スヘシ

**第四十四** 遞傳哨長ハ遞傳簿（附錄第二參看）ヲ備ヘ各書簡ノ表書（速度モ共ニ）、時刻、之ヲ遞送シ來リシ傳令及次ヘ轉送セシ傳令ノ氏名ヲ記ス而シテ其次ヘ轉送スル者ハ送付證ヲ帶ヒ其送

達ヲ受ケシ隣哨若クハ受領者ヲシテ之ニ其書簡到達ノ證ヲ記入セシム

哨長ハ遞傳簿ニ記載ノ爲メ送致ヲ遲滯セシムルコトナキヲ要ス

遞傳哨ハ通常其地名ヲ冠シ某地遞騎哨又ハ遞自轉車哨等ト稱ス

**第四十五** 敵地ニ在リテハ遞傳哨及遞送者ノ危險ヲ豫防スル爲メ嚴罰ヲ以テ住民ヲ脅嚇シ或ハ人質ヲ取ルカ如キ特別ノ方法ヲ講スルヲ要ス

**第四十六** 地勢車輛及騎兵ノ使用ニ適セサル時ニ於テハ遞歩哨ヲ設クルコトアリ然ルトキハ其距離ハ互ニ二乃至四吉米ト爲スヲ適度トス又其勤務ノ方法ハ第四十三乃至第四十五ニ掲クル規



定ニ準スルモノトス

**第四十七** 傳令ノ速度ハ地形ノ難易、距離ノ遠近、天候ノ良否、馬匹ノ状態等ニ依リ多少ノ差違アリト雖モ之ヲ概定スルコト左ノ如シ

乗馬傳令

並ハ概ネ三分ノ一ノ歩度（常歩二、速歩一ノ割合ニシテ一時間約八吉米）

急ハ概ネ三分ノ二ノ歩度（常歩一、速歩二ノ割合ニシテ一時間約十吉米）

至急ハ馬力ノ耐フルニ應シ成ルヘク迅速ナル歩度ヲ用ヒ戰場

及約二十吉米以内ノ距離ニノミ應用スヘキモノトス

徒歩傳令

並ハ速歩（一時間約五吉米）

急ハ駈歩ト速歩トヲ混用ス（一時間約六吉米）

至急ハ唯近距離ニノミ用フルモノニシテ脚力ノ耐フルニ應シ

駈歩ス

**第四十八** 自轉車及自働車ノ速度ハ道路ノ景況、天候ノ良否等ニ依リ一定ス可カラスト雖モ傳達緩急ノ程度ニ應シ前條ノ趣旨ニ準シ之ヲ定ムルモノトス

三 傳令ニ關スル注意



**第四十九** 命令、通報、報告ノ發信者ハ傳令ニ對シ確切ニ左ノ諸件ヲ示スヘシ

受信者及其所在地

經路

速度(要スレハ到着時刻)

傳達後ノ處置

而シテ要スレハ經過路ノ要圖若クハ之ヲ記入シタル地圖ヲ與ヘ又敵ニ關シ顧慮スヘキ事項ヲ指示スルモノトス

**第五十** 發信者ハ傳令ニ往々其書中ノ趣旨ヲ知ラシメ置クヲ可トスルコトアリ特ニ途中敵ニ關スル顧慮ヨリ書簡ノ破毀消滅ヲ

要スル慮アル時ニ於テ然リトス又此ノ如キ場合ニ於テハ成ルヘク書簡ニ我軍ノ部隊號ヲ記載スルヲ避クヘシ

**第五十一** 傳令ハ途中上官ニ遇フト雖モ其步度ヲ變スルコトナシ又命令、通報、報告ヲ傳達スルニ下馬ヲ要セス

傳令ハ要スルトキハ命令、通報、報告受領者ノ宛名ヲ叫ヒテ其所在ヲ索ムヘシ而シテ其附近ニ在ル者ハ傳令ニ對シ必要ナル告知ヲ爲スヘキ義務アルモノトス

**第五十二** 通報及報告ハ往々途中ニ於テ他ノ司令部及軍隊ニ知ラシムルヲ適當トスルコトアリ此ノ如キ場合ニ於テハ特ニ傳令ニ諭示スヘキモノトス然ルトキハ傳令ハ途中前兵長、前衛司令



官等ニ單簡ニ之ヲ告知スヘシ其他ノ場合ニ於テ傳令ヲ途中ニ滞留セシムルハ唯特別ノ時機ニ際シ之ヲ滞留セシメタル者自ラ其責ニ任シテ爲スヲ得ルノミ然ルトキハ通信紙ノ一邊ニ署名スヘシ

傳令途中ニ於テ事故ヲ生シタルトキハ速ニ最近ノ部隊ニ交渉スヘシ而シテ各部隊ハ其命令、通報、報告ヲ速ニ送達スル爲メ傳令ニ對シ爲シ得ル限り援助ヲ與フルノ義務ヲ有ス

**第五十三** 命令、通報、報告ノ趣旨特ニ重要ナルカ或ハ其途次安全ナラサルトキハ數通ヲ製シ數使ヲ發シテ相異ル道路ヲ取ラシメ或ハ二人以上同行セシムシ而シテ内容ノ重要ナルモノハ

成ルヘク將校ヲシテ之ヲ傳達セシムヘシ又時宜ニ依リ將校ニ護衛兵若干ヲ屬シ乗車セシメテ差遣スルヲ利トスルコトアリ

**第五十四** 口上ヲ以テ命令、通報、報告ヲ傳フルトキハ傳令ハ出發前並歸來後其全文若クハ要旨ニ就キ之ヲ復唱スヘシ

#### 第四章 文書記述ノ通則

**第五十五** 文書ノ記述法ハ爲シ得ル限り簡易ナルヲ要ス命令、通報及報告等ニハ時宜ニ依リ暗號ヲ用フルコトアリ

**第五十六** 文章ヲ單簡ニシ奇異ノ語ヲ避クルハ文意ヲ明瞭ニシ且ツ了解シ易カラシムルニ緊要ナルコトトス而シテ記載ノ後之ヲ復讀シ且ツ受信者ニ於テ如何ニ了解スヘキカラ考察スルトキ



ハ往々字句修正ノ必要ヲ發見シ以テ受信者ノ誤解ヲ減省シ得ヘシ

**第五十七** 右、左、前、後、此方、彼方等ノ語ハ其語意分明ニシテ疑ヒナキ時ノ外成ルヘク之ヲ用ヒサルヲ可トス

右側、左側、右翼、左翼、右側衛、左側衛等ノ語ハ敵ニ對スル方向ヲ、行軍縱隊ノ先頭及後尾ナル語ハ行進方向ヲ基準トシテ稱呼ス

河川ノ右岸、左岸トハ下流ニ面シテ之ヲ稱呼スルモノトス

編合部隊ヲ部隊號ニ依リ單簡ニ稱呼シ能ハサルトキハ地名若クハ指揮官ノ氏ヲ以テ命名スルヲ可トス

**第五十八** 命令、通報、報告等ヲ記スルニハ概ネ通信紙ヲ用フ若シ通信紙或ハ定規ノ用紙ナキ時ニ於テハ手簿ノ紙片等ヲ以テ之ニ代用スルヲ得ヘシ

定規ノ通信紙ヲ使用セサルトキハ發簡者及受簡者ノ氏名若クハ氏官（職）ハ命令等ノ標題ノ前ニ於テ發簡者ヲ下ニ、受簡者ヲ上ニ記シ月日時及發簡地ハ命令等ノ標題下ニ記載スヘシ

命令、通報及報告記述ノ月日時ニハ通常其記述ヲ始メタル月日時ヲ用フルモノトス

**第五十九** 日ヲ記スルニ方リテハ單ニ明日又ハ昨日等ト記スルコトナク明何日、昨何日等ト記載スルヲ要ス



同一ノ命令、通報又ハ報告中同一ノ月日ハ誤解ヲ生セサル場合ニ於テハ其列記ノ順序ニ依リテ或ハ之ヲ省略スルヲ得ヘシト雖モ午前若クハ午後ノ語ハ必ス時刻ニ冠スルヲ要ス

全夜ニ亘ル事件ニシテ夜ノ字ヲ用フルヲ要スルトキハ單ニ某日夜ト記載スヘシ蓋シ夜ハ黄昏ヨリ拂曉迄ヲ稱ス故ニ某日夜トハ其時間翌日ノ拂曉前ニ亘ルモノトス

**第六十** 地名ハ殊ニ明瞭ニ記シ且ツ地圖ト同文字ヲ用フルヲ要ス

一地方ニ於テ同一ノ地名アル時若クハ著名ナラサル地名ハ精密ニ記シテ（例ヘハ北部何村或ハ何村ノ東北何吉米ニ在ル何村等）

明瞭ナラシムヘシ

字或ハ俗稱ニシテ地圖ニ記載ナキモ之ヲ用フレハ其地點明瞭ナル時又ハ地名實稱ト異ル場合ニ於テモ必ス先ツ地圖ニ記載シアルモノヲ記シ其下ニ括弧ヲ置キ字或ハ俗稱又ハ實稱何々ト記シ又讀ミ難キ地名ニハ傍訓ヲ附スヘシ（例ヘハ我孫子、飯富等）外國ノ地名ハ極メテ明瞭ナルモノ（例ヘハ北京、上海ノ如シ）ヲ除キ其他ハ通常我國慣用ノ字音及發音ニ依リ之ヲ記載及稱呼スルモノトス（例ヘハ沙河、營口ト爲シ「サーホ」「インコウ」トセサルカ如シ）

道路ハ疑ヒナキ街道（中山道、東海道等）ノ外ハ之ニ關スル著名



ナル二箇以上ノ地名ヲ以テ記スヘシ（例ヘハ何村——何村道）  
某地點又ハ道路等ヲ包含スル地區ノ指示ヲ爲スニ際シ之ヲ包含  
スルヤ否ヤ疑ハシキ虞アルトキハ地名又ハ道路等ノ名稱ノ下ニ  
括弧ヲ附シテ「含ム」若クハ「含マヌ」ト記シ或ハ某地及其附近若  
クハ道路及其以南等ト記シテ明瞭ナラシムヘシ

**第六十一** 命令、通報或ハ報告中地形ニ關スルコトヲ記載スル  
ニハ地圖ニ依リテ其名稱ヲ指示スルヲ要ス縱ヒ受令者又ハ受報  
者ノ地圖ヲ携帯セサル時ト雖モ亦然リトス然レトモ地圖ヲ參照  
スルニ非サレハ了解ス可カラサル指示ハ受令者又ハ受報者同一  
ノ地圖ヲ携帯スルコト確實ナル時ニ於テノミ之ヲ爲スヲ得此時

ニ於テハ其用ヒタル地圖ノ名稱ヲ示スヘシ又標高ニ依リテ一地  
點ヲ指示スルトキハ常ニ補足ノ語ヲ用ヒテ他ノ標高ト混セサル  
ヲ要ス（例ヘハ何村ノ西方何吉米ニ在ル標高何々）

**第六十二** 一地區或ハ軍隊ノ位置ヲ單ニ左右ノ方向ニ從ヒ示ス  
ニハ我軍ニ在リテハ右翼ヨリ、敵軍ニ在リテハ其左翼ヨリ始ム  
ルヲ通常トス然レトモ著名ナル地點若クハ地物ヲ基準ト爲シ此  
基準ヨリ右或ハ左ノ方向ニ表示スルヲ可トスルコトアリ

**第六十三** 司令部及軍隊ヲ示スニ方リ凡テ明瞭ヲ缺カサル略語  
ハ之ヲ用フルコトヲ得

一部ヲ缺キタル軍隊ヲ示スニハ「第何隊欠」或ハ「幾隊欠」ノ文字



ヲ括弧内ニ記スヘシ又要スレハ本部及之ニ屬スル部隊ノミヲ記スヘシ

**第六十四** 凡テ書類ハ字體ヲ正シテ鮮明ニ筆記シ光明不十分ノ時ニ於テモ尙通讀シ得ヘカラシメ誤リ易キ文字(例ヘハ二一トニ、八トハ、カトカ等)ハ殊ニ明瞭ニ記載スヘシ

鉛筆ヲ以テ記載シタル書類ニシテ他日ニ保存スヘキモノハ受領後機會ヲ得ルニ從ヒ之ヲ淨寫スルカ或ハ筆蹟ヲ保持スヘキ液體(牛乳、護謨液等)ヲ塗布スヘシ

**第六十五** 通信紙及封筒ノ樣式ハ附錄第三ヲ參看スヘシ

### 第三篇 搜索及諜報勤務

#### 第一章 通則

**第六十六** 搜索ノ目的ハ敵ノ位置、動作及兵力ヲ探知スルニ在リ而シテ之ニ任スル部隊ハ又屢、地形ノ偵察ヲモ併セ行フモノトス

**第六十七** 搜索勤務ハ主トシテ騎兵ノ任スル所ナリ此騎兵ノ任務ハ最モ重要ニシテ其範圍頗ル大ナルヲ以テ一騎卒ト雖モ亦各級ノ指揮官ト均シク拔群ノ功ヲ奏スル機會アリトス而シテ搜索勤務ニ任スル者ハ進退趨捷ニシテ奇計ニ富ミ戰術ノ理解力ヲ有



シ機ヲ察スル銳敏ニシテ果敢斷行ヲ尙ヒ奮勵シテ非常ノ困厄ニ耐フルヲ要ス

戰況或ハ地形ハ騎兵ノ搜索ヲ困難ナラシメ若クハ全ク實行シ難キニ至ラシムルコトアリ此ノ如キ場合ニ在リテハ屢々他兵種ヲシテ搜索ヲ行ハシムルカ或ハ騎兵ヲ補助セシムルヲ要ス又戰況ノ進捗ニ伴ヒ正面前ニ於ケル搜索ハ漸次他兵種ヲ以テ之ニ任スルニ至ルモノトス

航空機ハ搜索勤務上偉功ヲ奏スルコトアリ

**第六十八** 敵情及地形特ニ之ヲ要スルトキハ步兵若クハ其他ノ兵種ヲシテ騎兵ヲ支援セシムルヲ有利ト爲スコトアリ然ルトキ

ハ騎兵ハ此支援隊ノ爲メ其固有ノ活動力ヲ拘束セラレサルコトニ注意スヘシ

**第六十九** 搜索ハ敵ト遠隔セル場合ニ於テハ甚シク細部ニ涉ルノ要ナキモ敵ト愈々接近スルニ從ヒ益々周密ナラシムルヲ要ス殊ニ敵ト衝突スルノ時機切迫セルトキハ敵ノ戰術上ノ部署ヲ成ルヘク精密ニ偵知スルコト必要ナリ

**第七十** 戰鬪間ニ於ケル搜索ハ適時戰況ノ變化ニ應センカ爲メ高級指揮官並各部隊ニ於テ絶エス實行スヘキモノニシテ各部隊ハ單ニ自己ノ正面前ノミナラス要スレハ其側面及背後ヲモ搜索スヘキモノトス



騎兵ハ通常戰線ノ翼側ニ位置シテ搜索ヲ續行シ且ツ敵ノ奇襲ニ對シ他兵種ヲ掩護スルノ責任ヲ有ス

**第七十一** 搜索部署ノ適否ハ搜索勤務ノ成果ニ大ナル關係ヲ有ス故ニ搜索ニ任スル指揮官ハ任務、情況及地形ニ稽ヘ先ツ搜索スヘキ方向及範圍ヲ確定シ之ニ應シテ軍隊ヲ部署シ且ツ斥候派遣ノ區分ヲ爲スモノトス

凡ソ搜索部署ニ於テ最モ戒ムヘキハ兵力分散ノ弊ニ陥ルニ在リ故ニ勉メテ支分スル兵力ヲ節約シ且ツ適時之ヲ主力ニ復歸セシムルコトニ注意スヘシ

**第七十二** 凡テ搜索部隊ハ一タヒ敵ト觸接スルトキハ晝夜ヲ論

セス其踪跡ヲ失フ可カラサルノ責任ヲ有ス斥候モ亦其任務ニ牴觸セサル限リ此規定ニ從フヘシ

**第七十三** 搜索部隊ハ命令ナキ時ト雖モ地形、交通路、通信網、地方物資ノ情況等ニ關シ緊要ナル事項ヲ報告スルヲ要ス

地圖ナキカ或ハ其不完全ナル地方ニ於テ最前線ニ行動スル搜索部隊ハ勉メテ經過セシ地ノ要圖ヲ調製シ之ヲ報告スヘシ

**第七十四** 搜索部隊及斥候ニハ屢、携帶彈藥及糧食ヲ増加シ其他ハ成ルヘク輕裝セシムルヲ可トスルコトアリ

**第七十五** 諜報勤務ハ居民ノ口述、信書ノ點檢、俘虜ノ尋問、間諜ノ使用其他諸種ノ徵候等ニ依リテ其目的ヲ達スルモノニシ



テ其得タル結果ハ直接軍ノ搜索機關ニ依リテ蒐集セル諸情報ヲ補綴シ若クハ確定スルノ資料ト爲ルモノナリ

## 第二章 騎兵ヲ以テスル搜索

### 一 騎兵集團及騎兵旅團

**第七十六** 大部隊ニ在リテ殊ニ敵ト離隔セル時ニ於ケル搜索ハ廣大ナル地域ニ亘リ實施スルモノニシテ通常騎兵集團若クハ騎兵旅團ヲ以テ之ニ任ス

此騎兵ハ遠ク軍ノ前方ニ進ミ諸種ノ情報ヲ蒐集シテ敵情ヲ審ニスルモノトス之カ爲メ先ツ敵ノ搜索機關ヲ擊攘シ以テ搜索動作

ノ自由ヲ獲得センコトニ勉ムルヲ要ス

**第七十七** 騎兵集團若クハ騎兵旅團ハ搜索ノ目的ヲ達成スル爲メ搜索隊又ハ將校斥候ヲ派遣シ或ハ之ヲ併用ス

搜索隊ヲ出スノ數ハ搜索地域ノ廣狹、地形特ニ道路網ノ關係及敵情ニ依リ變化スト雖モ敵ノ搜索機關ト衝突スル場合ニ於テ著シク我カ騎兵集團若クハ騎兵旅團ノ兵力ヲ減殺セサルコトニ顧慮スヘシ

搜索隊ノ兵力ハ通常約一中隊トス

**第七十八** 搜索隊ハ所定ノ搜索地帯内ニ於テ行動シ自ラ所要ノ斥候ヲ派遣シテ搜索網ヲ形成ス又搜索隊ハ要スレハ斥候ヲ支援



シ之ヲ推進スルモノトス

**第七十九** 搜索隊ノ搜索正面ハ敵情、地形及兵力ニ依リ變化スルモノトス

數箇ノ搜索隊ヲ派遣スルトキハ地形特ニ道路網ノ關係ヲ顧慮シ搜索地帯ノ境界ヲ示スヲ可トス

**第八十** 搜索隊ハ蒐集セル諸情報ヲ綜合審査シ適時ニ之ヲ後方ニ送致スル爲メ又日々後方ヨリ爾後ノ行動ニ關シ新ナル命令ヲ受クル爲メ騎兵ノ主力ト確實ニ連絡スルヲ要ス故ニ其主力ト離隔スル距離ハ此要求ヲ充タシ得ルヲ以テ度トスヘシ

## 二 師團騎兵

**第八十一** 騎兵集團若クハ騎兵旅團ノ有無ニ關セス各師團ハ更ニ其師團騎兵ヲ以テ各自ノ搜索勤務ニ任スルヲ要ス

騎兵集團若クハ騎兵旅團前方ニ在ラサルトキハ師團ハ通常將校斥候ヲ以テ遠距離ニ亘ル搜索ヲ行フモノトス

**第八十二** 軍隊區分ニ依リテ成立セル各部隊ニハ常ニ必要ナル騎兵ヲ屬シ以テ近距離ニ於ケル搜索ニ任セシム之カ爲メ師團騎兵ノ大部ハ通常之ヲ警戒隊ニ配屬スルモノトス

## 三 斥候

**第八十三** 斥候及小部隊ハ搜索ノ爲メ視察ヲ以テ主要ナル手段トス然レトモ此目的ヲ達センカ爲メ敵ノ小部隊若クハ斥候ヲ驅



逐スルヲ必要トスルコトアリ

**第八十四** 緊要ナル任務ノ爲メニハ將校斥候ヲ用フヘキモノトス此將校ハ良馬ヲ有シ能ク地形ヲ判定シ特ニ一瞬ノ視察ヲ以テ正當ノ決心及判斷ヲ爲シ得ルノ能力ヲ具備セサル可カラス

**第八十五** 將校斥候ヲ出スノ數ニ關シテハ其後更ニ斥候ヲ出スノ必要ヲ生スヘキト將校ヲ差遣スレハ騎兵隊ノ活動力ヲ減殺スルコトトニ顧慮セサル可カラス故ニ任務稍、重要ナラサルトキハ適當ナル下士斥候ヲ以テスルヲ可トス

如何ナル場合ニ在リテモ斥候ノ效用ハ人馬特ニ其長ノ選抜ニ依リテ期待スハシ此選抜ハ其授クル教示ノ詳密ナルニ優ルコト更

ニ大ナリトス

特別ノ場合ニ在リテハ參謀將校或ハ騎兵科以外ノ將校ヲ以テ斥候長ト爲スコトアリ

**第八十六** 一ノ斥候ニ用フル兵力ハ任務、敵情、之ヲ派遣スル部隊ノ大小、土民ノ動靜及報告送致ノ方法等ヲ考慮シテ定ムヘキモノトス

然レトモ斥候ノ兵力増大スルニ從ヒ敵眼ヲ避ケテ行動スルコト益、困難ト爲ルニ顧慮スヘシ

**第八十七** 將校斥候ニハ明瞭ニ我軍ノ企圖並搜索スヘキ一般ノ方向若クハ地點ヲ示シ其實施法ニ就テハ之ヲ羈束スルコトナシ



然レトモ必要ニ應シ通過スヘキ地方ヲ指示スルコトアリ

**第八十八** 斥候勤務ニ要スル所ノ性質四アリ慧敏、熱心、沈著、剛膽是レナリ而シテ就中剛膽ナル者最モ能ク其任務ヲ達成スルヲ得ヘシ然レトモ斥候ハ又常ニ不意ノ危害ヲ豫防スル爲メ細心ノ注意ヲ怠ル可カラス

**第八十九** 斥候ハ情況ノ許ス限リ道路ニ依リテ行動シ一ノ展望地點ヨリ他ノ展望地點ニ躍進シ其目的ヲ達スルコトヲ勉ムヘシ休憩ニ際シテハ適當ノ潜伏所ヲ索メ敵ニ發見セラルルコトナク又敵狀監視ヲ中絶セサルコトニ注意シ尙敵意ヲ有スル地方ニ於テハ大ナル住民地ヲ再ヒ通過セス又村落及圍牆内ニハ永ク位置

ス可カラス

**第九十** 時ノ形勢ニ依リ斥候長ハ其部下ノ大部ヲ認知シ易キ地ニ駐メ單身或ハ騎術熟練ニシテ良馬ヲ有スル騎卒若干ヲ伴ヒ更ニ冒進スルコトアリ

**第九十一** 斥候若クハ小部隊ヲシテ長時間絶エス敵ノ運動ニ從ヒ之ト觸接セシメ而シテ其情況ヲ報告セシメ得ルトキハ好果ヲ奏スルコトアリ然レトモ此斥候等アルカ爲メ日々出スヘキ斥候ヲ省略スルヲ得ス

**第九十二** 本令ニ掲クル爾餘ノ斥候勤務ニ關シテモ亦第八十三乃至第九十一ニ掲ケタル規定ヲ適用スヘシ



### 第三章 騎兵以外ノ兵種ヲ以テスル搜索

**第九十三** 徒歩斥候ハ蔭蔽シテ行動シ得ルヲ以テ敵ト接近セル場合ニ在リテハ重要ナル任務ヲ果シ得ルモノトス。特ニ歩兵將校斥候ハ此ノ如キ場合ニ於テ多ク之ヲ使用ス。

豫メ定メタル單簡ナル記號ハ徒歩斥候相互間並後方ニ報告スル爲メ往々最良ノ通信法タルコトアリ。

**第九十四** 情況ニ依リ歩兵部隊若クハ諸兵連合ノ支隊ヲ稍遠距離ニ差遣シテ搜索ニ任スルヲ要スルコトアリ。此部隊ハ屢敵ノ監視部隊若クハ警戒部隊等ヲ驅逐シテ其背後ノ情況ヲ搜索スル爲メ戰鬥ヲ避ク可カラサルコトアリ。

**第九十五** 搜索ノ爲メ歩兵及砲兵ヲ以テ攻撃ヲ行フハ他ニ手段ナキ場合ニ於テスルモノトス。而シテ之カ爲メ強大ナル兵力ヲ使用スルハ不應ノ本戰ヲ惹起スルコトアルヲ以テ我軍企圖スル所ノ總攻撃ノ端緒ヲ開ク時ニ於テノミ之ヲ施行スヘシ。此搜索間主力ハ常ニ情況ノ推移ニ應シ得ヘク待機ノ姿勢ニ在ルヲ要ス。

**第九十六** 敵ノ構成シタル陣地ヲ偵察スル爲メ歩兵斥候ノ外砲兵及工兵ノ斥候ヲ派遣スルコトアリ。而シテ此ノ如キ偵察ハ夜間ニ於テセサル可カラサルコト多シ。

**第九十七** 砲兵斥候ハ砲兵ノ戰鬥動作ニ必要ナル情報ヲ蒐集スルヲ以テ目的ト爲ス。而シテ此斥候ハ勉メテ附近ニ在ル搜索部



隊、斥候及軍隊ト連絡スルヲ要ス

**第九十八** 航空機ハ他ノ搜索機關ノ使用ヲ許ササル場合ニ於テモ亦能ク之ヲ使用シ搜索ノ目的ヲ達シ得ルモノニシテ又騎兵及砲兵ノ搜索勤務ニ協力セシムルニ適スルモノトス就中飛行機ハ最モ迅速ニ情報ヲ得ルニ適シ航空船ハ飛行機ニ比シ長時間ノ搜索ヲ爲スヲ得ルモ繫留氣球ハ單ニ小距離ノ偵察及監視ニ用ヒ得ルニ過キサルモノトス而シテ航空機ハ其特性上天候ト光明トノ影響ヲ受クルコト大ナルニ注意セサル可カラス

航空機ヲ搜索ニ使用スルニ際シテハ高級指揮官ハ單ニ任務ヲ示スノミニシテ其實施法ハ通常航空隊長若クハ航空機ノ長ニ一任

スルモノトス

航空機ヨリスル報告ノ受領及其迅速ナル轉送並航空機著陸ノ際及降陸中所要ノ援助ヲ爲スハ近傍ニ在ル部隊ノ義務トス

#### 第四章 諜報勤務

**第九十九** 居民ノ言ヲ聽キ又新聞紙、信書、電信(原書、現字紙)其他郵便局、通信所、官公署等ニ在ル書類ヲ奪取スルトキハ重要ノ事件ヲ探知シ得ルモノトス而シテ此ノ如キ情報材料ノ蒐集ハ主トシテ搜索部隊及斥候等ノ任務ニ屬スト雖モ其他ノ部隊モ亦敵地ヲ占領スルニ方リ其機ニ際會スルコト尠カラサルモノトス

**第一百** 俘虜及遺留シタル傷病者ノ言並其携帯セル圖書、戰死者



ノ携帶圖書或ハ敵ノ遺留セシ圖書モ亦情況判斷ノ重要ナル材料ト爲ルモノナリ  
俘虜ハ特ニ定メラレタル規則ニ從ヒ取扱フモノナルモ戦闘前ニ獲タル俘虜ハ敵情候察ノ爲メ速ニ之ヲ上官ニ送付スヘシ若シ情況之ヲ許ササルトキハ直ニ各人ニ就キ場所ヲ異ニシテ巧ニ之ヲ審問シ其言フ所彼此合一スルノ多少ニ依リテ情況ノ虛實ヲ明カニスヘシ  
俘虜ノ審問ハ少クモ左ノ諸件ニ及フモノトス  
所屬部隊及其位置、其部隊ニ連繫スル他ノ部隊、高級指揮官ノ氏名及其所在、前夜ノ宿營、戦闘及行軍ノ狀態、給養ノ良

否、志氣ノ振否等

若シ形勢直ニ此諸件ヲ審査スルノ違アラサル時ト雖モ所屬部隊及其位置ハ必ス之ヲ審究スヘシ是レ之ニ依リテ敵軍兵力ノ分配ヲ判定シ得ルコトアルヲ以テナリ  
敵軍兵力ノ分配ヲ知ルハ高等司令部ノ作戰指導上最モ重要ノコトニ屬ス故ニ勉メテ敵兵ヲ捕獲スルハ此目的ノ爲メ極メテ緊要ナリトス

**第一百** 問諜ノ使用ニハ細心ノ注意ヲ要ス而シテ問諜ニハ我知ラント欲スル點ヲ明瞭ニ示スヲ要スト雖モ我目的トスル所ハ決シテ之ヲ知ラシム可カラス



敵方ヨリ來レル我間諜ハ審問スルコトナク之ヲ派遣シタル司令部ニ護送スヘシ

**第二百二** 極メテ些細ナル徵候モ之ヲ探究スルトキハ往々重大ナル情況ヲ發見シ得ルコトアリ

住民ノ意向、態度、敵兵宿營ノ跡、通信交通機關ノ設置方向或ハ破壊ノ方法等ヲ仔細ニ觀察スルトキハ敵ニ關スル情況判斷ノ憑據ヲ得ルコトアリ

## 第四篇 警戒勤務

### 第一章 通則

**第三百三** 警戒ノ目的ハ行軍及駐軍間不意ノ敵襲ヲ豫防シ且ツ敵ノ視察ヲ妨クルニ在リ

**第三百四** 警戒勤務ハ之ニ服スル軍隊ヲ疲勞セシムルコト大ナルヲ以テ其目的ヲ達スル爲メ必要以外ノ兵力ヲ使用セサルコトニ注意スヘシ

**第三百五** 警戒ノ部署ハ一定不變ノモノニ非スト雖モ敵方ニ向ヒ逐次ニ小ナル數箇ノ部隊ニ區分スルヲ通常トス然レトモ小ナル



部隊ニ在リテハ僅ニ其警戒ニ要スル最小ノ兵力ヲ支分スルニ過キサルモノトス

凡テ警戒隊ノ常ニ服膺スヘキ原則ハ敵方ニ近キ小ナル部隊ハ更ニ戦備ヲ嚴ニシ以テ逐次大ナル部隊ノ警戒ヲ擔任スルニ在リ

**第百六** 搜索ノ周密ナルハ警戒ノ主要條件トス故ニ警戒隊ハ絶エス其所在地附近ヲ搜索スルハ勿論尙所要ニ應シ遠距離ニ亘リ搜索ヲ行フヲ要ス

騎兵集團若クハ騎兵旅團軍ノ正面前ニ在ルトキハ警戒隊ハ爲シ得レハ之ト連絡ヲ保持スルモノトス

## 第二章 行軍ノ警戒

### 一 要領

**第百七** 行軍間ニ於ケル警戒ハ前衛、側衛又ハ後衛ヲ以テス而シテ其任務ハ敵ノ攻撃ニ對シ本隊ニ動作ノ自由ヲ得セシメ且ツ其行進ヲシテ澁滞ナカラシムルニ在リ

**第百八** 行軍間ニ於ケル警戒隊ハ命令ナシト雖モ行軍間ノ駐止並行軍ヲ終レル後ニ於テ尙本隊ヲ掩護スルノ責任ヲ有ス故ニ警戒隊駐止セハ直ニ前哨ノ爲メ定メタル規定ニ從ヒ所要ノ部署ヲ爲スモノトス

### 二 前衛



イ 前進行ノ前衛

第百九 前進行ニ於ケル前衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

- 一、行進路上ニ在ル障碍ヲ除去ス之カ爲メ敵ノ小部隊ノ如キハ之ヲ擊破シテ前進ス
- 二、敵ト接近スルニ至レハ其陣地若クハ行進方向及兵力ヲ偵察シ且ツ我本隊ノ開進及展開ヲ掩護ス
- 三、敵ヲ追撃スルニ方リテハ速ニ之ニ追及シ其主力ヲシテ抗戦スルノ已ムヲ得サルニ至ラシム

第百十 前衛ノ兵力及編組ハ我軍ノ目的、敵情、縦隊ノ大小、

地形及明暗ノ度ニ從フモノトス但シ大ナル團隊前後ニ重疊シテ行進スルトキハ後方ノ團隊ハ通常前衛ヲ設ケサルモノトス  
前衛歩兵ノ兵力ハ通常全歩兵ノ三分ノ一以内トス而シテ前衛歩兵ニハ機關銃ヲ配屬スルヲ有利トス  
前衛ニハ常ニ其目的ヲ達成スルニ足ルヘキ騎兵ヲ配屬スルヲ要ス

野戰砲兵ハ所要ニ應シテ前衛ニ配屬ス

工兵ハ其大部ヲ前衛ニ屬スルヲ通常トス

衛生隊並架橋縦列ノ一部ヲ前衛ニ附屬スルヲ必要トスルコトアリ



**第百十一** 前衛ト本隊トノ距離ハ我軍ノ目的、敵情、縦隊ノ大小、地形及明暗ノ度ニ應シテ異ルモノトス此距離ハ一ニハ本隊ノ行進ヲシテ澁滞中止ノ虞ナカラシメンカ爲メ勉メテ長遠ナルヲ欲スト雖モ又一ニハ本隊ヲシテ時機ヲ失セス戦闘ニ加ハルコトヲ確切ナラシメンカ爲メ之ニ適スル距離ヨリ長遠ナラサルヲ要ス

**第百十二** 前衛ハ通常前衛本隊、前兵及前衛騎兵ニ區分ス但シ小ナル部隊ニ在リテハ單ニ尖兵中隊若クハ尖兵ノミヲ出スコトアリ

**第百十三** 前衛本隊ハ通常歩兵ノ大部分、野戰砲兵、工兵ヨリ

成ル

工兵ハ前兵ノ後尾ニ跟隨セシムルヲ有利トスルコトアリ

**第百十四** 前兵ハ前衛歩兵ノ四分ノ一乃至三分ノ一及必要ノ騎兵ヲ以テ編組ス又要スレハ之ニ工兵ヲ屬ス

前兵ニ配屬スヘキ騎兵ノ數ハ行進路ノ兩側近距離ヲ搜索スルニ足リ歩兵ヲシテ側方ニ斥候ヲ派遣スルコトヲ免レシムルヲ以テ度トスヘシ

前兵ト前衛本隊トノ距離ハ敵ト衝突ノ際前衛本隊ヲシテ展開ヲ爲スノ時間ヲ得セシムルニ足ルヲ以テ度トス此距離ハ通常七百乃至千二百米ナルヘシ小ナル前衛ニ在リテハ前衛本隊不意ニ有



效ナル小銃射撃ヲ受ケサルコトニ願慮シテ其距離ヲ決定スヘシ」  
大ナル前兵ニ在リテハ其警戒ヲシテ益々確實ナラシメンカ爲メ  
更ニ歩兵一中隊ヲ前方約三百乃至四百米ニ出スコトアリ之ヲ尖  
兵中隊ト稱ス

**第一百十五** 前兵若クハ尖兵中隊ハ概ネ前ト同一若クハ尙大ナル  
距離ニ歩兵ノ尖兵ヲ出ス又前兵ハ配屬セラレタル騎兵ヲ以テ歩  
兵尖兵ノ前方ニ更ニ騎兵尖兵ヲ出スモノトス時宜ニ依リ騎兵尖  
兵ヲ省キ單ニ歩兵尖兵ノミヲ出スコトアリ

歩兵尖兵ハ一分隊以上ノ兵ヲ將校ノ指揮ニ屬シ行進路上ヲ搜索  
セシムルモノニシテ其將校ハ前方ニ發生スル事故ヲ速ニ判別ス

ル爲メ尖兵群ノ前方ニ在リテ行進シ又連絡兵ヲ以テ前兵或ハ尖  
兵中隊ト連絡スルモノトス而シテ敵ニ接近スルニ至レハ所要ニ  
應シ行進路ノ近傍ニ斥候ヲ派遣シ又村落若クハ蔭蔽地ニ在リテ  
ハ特ニ意ヲ用ヒテ搜索ヲ爲スモノトス

騎兵尖兵ハ長及騎卒數人ヨリ成リ行進路上ノ搜索ニ任スルモノ  
ニシテ視察ニ便ナル地點ヲ選ヒテ躍進シ且ツ常ニ背後ニ在ル部  
隊ト連絡ヲ保持スルモノトス

**第一百十六** 前衛騎兵ハ前方ニ在リテ十分搜索ノ任務ヲ盡シ且ツ  
背後ニ在ル歩兵隊トノ連絡ヲ失ハサル如ク行動ヲ規整スルモノ  
トス而シテ其背後ノ軍隊戰鬪ノ爲メ展開スルニ至レハ適當ノ位



置ニ來リ爾後ノ使用ニ應シ得ヘキヲ要ス

**第一百十七** 歩兵獨立シテ行進スルトキハ前ニ示ス趣旨ニ基キ適當ノ方法ヲ選ヒ前衛ヲ部署スヘシ但シ此場合ニ在リテハ尖兵ノ兵力ヲ有力ナラシムルヲ要ス

**第一百十八** 騎兵集團若クハ騎兵旅團又ハ獨立シテ行進スル騎兵隊ハ任務及情況ニ應シ前掲ノ要領ニ準シテ其隊ヲ部署シ以テ搜索及警戒ノ方法ヲ定ムルモノトス

騎兵ハ常ニ機動ノ迅速ト兵力ノ集結トヲ要スル特性ヲ有シ且ツ一般ノ搜索部署ハ自然ニ警戒ノ爲メ有力ナル保障ト爲ルヲ以テ前衛ノ兵力ハ成ルヘク之ヲ節約シ本隊ヲシテ不意ノ敵襲ヲ受ケ

サラシムルヲ以テ足レリトス小ナル騎兵隊ニ在リテハ通常前衛各部ノ区分ヲ省略シ單ニ稍、有力ナル尖兵ヲ出スノミニテ可ナルコトアリ

騎兵機關銃及騎砲兵ハ通常前衛ニ附スルコトナク本隊ニ在リテ行進セシムルモノトス

**第一百十九** 凡ソ前進運動ニ於テハ小ナル部隊ハ常ニ大ナル部隊ノ進退ニ從ヒテ行動ヲ律スルモノニシテ其相互間ノ連絡ニハ所要ニ應シ通常歩兵ノ連絡兵ヲ用フ而シテ連絡兵ノ數及其動作ハ部隊間ノ距離並道路ノ通視シ得ヘキヤ否ヤニ依リテ異ルモノトス



連絡ハ大ナル部隊ヨリ小ナル部隊ニ向ヒテスルヲ原則トス然レトモ連絡ノ維持困難ナルニ際シテハ小ナル部隊モ亦種々ノ方法ヲ以テ大ナル部隊ニ連絡ヲ圖ラサル可カラス

ロ 側敵行及退却行ノ前衛

第二百十 側敵行ニ於ケル前衛ノ任務ハ主トシテ敵ノ騎兵等ニ對スルノ外行進路ノ障礙ヲ除去スルニ在リ故ニ通常必要ナル騎兵及工兵ヲ以テ編組スルモノトス

第二百十一 退却行ニ於ケル前衛ノ任務ハ專ラ退路ノ通過ヲ自由ナラシムルニ在リ故ニ其編組ハ通常工兵ニ若干ノ騎兵ヲ附加スルヲ以テ足レリトス

第二百十二 安全ナラサル地方ヲ通過スル時ニ在リテハ側敵行及退却行ニ於テモ諸兵種ヲ以テ所要ノ前衛ヲ編成セサル可カラス

三 側衛

イ 側敵行ノ側衛

第二百十三 側敵行ニ於ケル側衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

- 一、本隊ト並進シ其側敵行動ヲ掩護ス
- 二、要スレハ本隊行進路ノ側方ニ陣地ヲ占領シテ其通過ヲ安全ナラシム



三、非常ノ場合ニ於テハ敵ヲ攻撃シテ之ヲ抑留シ以テ敵ヲシテ我本隊ニ近迫スル能ハサラシム  
側衛ハ如何ナル場合ニ在リテモ本隊ヲシテ戦闘ヲ避ケシムルコト必要ナリ

第二百二十四 側衛ノ兵力及編組ハ主トシテ危険ノ大小ト地形トニ應シテ定ムルモノトス而シテ側衛ニハ搜索及連絡ヲ迅速ナラシムル爲メ特ニ騎兵ヲ配屬スルヲ要ス

第二百二十五 側衛ノ部署及警戒方法ハ其時ノ形勢ニ從ヒテ異ルモノトス而シテ本隊ト並進スル場合ニ在リテハ通常前兵、側兵等ヲ以テ正面及側面ヲ警戒シ時宜ニ依リ後兵ヲ以テ背後ヲモ警

戒スルモノトス

第二百二十六 前進行變シテ側敵行トナルトキハ通常從來ノ前衛ヲ以テ側衛ヲ編成シ本隊ハ新ニ前衛ヲ設置ス或ハ時宜ニ依リ後衛ヲモ備フルヲ要スルコトアリ

ロ 前進行及退却行ノ側衛

第二百二十七 前進行ノ警戒ニ於テ前衛ハ前方ノ外、側方ノ警戒ヲモ忽ニス可カラス

側方警戒ノ爲メ斥候ノミニテ十分ナラサルトキハ更ニ側衛ヲ分遣ス而シテ此側衛ハ形勢ニ應シ前兵若クハ前衛本隊ヨリ分遣シ或ハ直ニ本隊ヨリ之ヲ分遣スルモノトス



側衛ハ成ルヘク本隊ノ行進路ニ並行スル道路ヲ取り通常前衛ニ於ケルカ如キ部署ヲ以テ行進シ前衛又ハ本隊ト絶エス連絡スルモノトス  
前進行ニ於ケル側衛ノ兵力及編組ハ其目的ニ應スル如ク定ムルモノトス

**第二百二十八** 退却行殊ニ優勢ナル敵前ニ於テハ敵兵遠ク後衛ヲ繞回シテ本隊ニ迫ル虞アルヲ以テ特ニ側衛ヲ後衛又ハ本隊ヨリ派遣スルヲ要スルコト多シ  
此側衛ニ屬スル騎兵ハ敵ト觸接ヲ保持スルト同時ニ絶エス敵ノ迂回動作ヲ搜索スルヲ要ス

其他退却行ニ於ケル側衛ニ關シテハ前進行ニ於ケル側衛ノ爲メ定メタル規定ヲ適用スルモノトス

#### 四 後衛

イ 退却行ノ後衛

**第二百二十九** 退却行ニ於ケル後衛ノ行動ハ本隊ノ情況、敵ノ遠近及其動作ニ應ジ異ルト雖モ概ネ左ニ準據スルモノトス

- 一、勉メテ行軍縱隊ヲ以テ行進シツツ本隊ノ退却ヲ掩護ス之カ爲メ其本隊トノ距離ハ之カ行進ノ遲滯ヲ顧慮シ通常前衛ニ於ケルヨリモ長遠ナラシム
- 二、要スレハ陣地ヲ占領シテ敵ノ前進ヲ拒止ス而シテ其陣地



占領ニ方リテハ獨力ヲ以テ戦闘ヲ終始セサル可カラサル  
コトニ顧慮スルヲ要ス

三、非常ノ場合ニ於テハ全隊ノ爲メ犠牲ト爲リ以テ本隊ノ退却ヲ容易ナラシム

**第三百三十** 後衛ノ兵力及編組ヲ定ムルニハ後衛ハ前衛ノ如ク常ニ本隊ノ援助ヲ胸算スルヲ得サルコトニ顧慮スルヲ要ス  
後衛ニシテ眞ノ戦闘ヲ爲サス且ツ歩兵ヲシテ之ニ與ラシメサルヲ得ハ大ニ利アリトス之カ爲メ後衛ノ編組中ニハ敵ヲ遠距離ノ外ニ壓シ得ヘキ野戰砲兵ヲ配屬シ尙其兵力ヲ強大ナラシムルヲ可トス然レトモ非常ノ場合ニ於テハ韌軟ノ抵抗ヲ爲ササルヲ得

サルヲ以テ歩兵ノ兵力モ亦前衛ニ於ケルヨリモ強大ナラシムルヲ要スルコトアリ

敵ト觸接ヲ保持シ且ツ其迂回運動ヲ速ニ察知スル爲メ所要ノ騎兵ヲ後衛司令官ノ指揮ニ屬スルモノトス

道路、橋梁其他交通設備ノ破壊、閉塞等ノ爲メ工兵ノ一部ヲ後衛ニ屬スルヲ可トスルコトアリ而シテ此目的ニ使用スヘキ工兵ハ之ヲ先遣スルヲ必要トス

**第三百三十一** 後衛ハ通常後衛本隊、後兵及後衛騎兵ニ區分シ其編組及部署ハ前進行ニ於ケル前衛ニ準スルモノトス

**第三百三十二** 後衛ハ常ニ敵ノ迂回若クハ包圍ヲ受ケ易キヲ以テ



之ニ對スル注意ヲ爲シ又隣接シテ退却スル部隊ノ後衛アルトキハ之ト連絡スルコトヲ怠ル可カラス

ロ 前進行及側敵行ノ後衛

**第三百三十三** 前進行及側敵行ニ於テ縦隊ノ後方ニ敵ノ騎兵部隊等出沒シ背後安全ナラサルトキハ特ニ後衛ヲ備ヘテ警戒セサル可カラス而シテ其兵力及編組ハ全ク危殆ノ大小ニ關ス

### 第三章 前哨

#### 一 要領

**第三百三十四** 前哨ハ休止ノ軍隊ヲ警戒スルヲ以テ任トス而シテ

警戒ハ敵軍ニ近ツクニ從ヒ益之ヲ嚴ニスルヲ緊要トス  
前哨ハ敵ノ小企圖ヲ排除シ眞面目ノ攻撃ニ對シテハ之ヲ抗拒シテ休止ノ軍隊ニ戰鬪準備若クハ出發準備ヲ整フルノ時間ヲ與ヘ又敵ノ偵察動作ヲ妨碍シ我軍ノ情況ヲ掩蔽セサル可カラス  
前哨敵ト近ク觸接セル場合ニ於テハ夜間ト雖モ敵ノ動靜ヲ審ニシ之ト觸接ヲ失ハサルコトニ關シテ前哨各部隊長ハ各、其責ニ任セサル可カラス

**第三百三十五** 前哨ノ兵力及編組ハ危險ノ大小、我軍ノ衆寡及地形ノ難易ニ應シテ定ムルモノトス而シテ其配置ハ各種ノ時機ニ於テ發生スル特別ノ情況ニ應シ變化スルモノニシテ翌日ノ爲メ



ノ指揮官ノ決心及豫想スル警戒時間ノ長短モ亦之ニ影響スルモノトス

**第三百三十六** 前哨ノ任務ヲ盡ス爲メ取ルヘキ方法ハ情況ニ應シ定ムヘキモノニシテ百般ノ時機ニ適用シ得ヘキ法則ヲ一定シ難シ故ニ前哨ヲ設クル毎ニ部署、隸屬ノ關係、勤務ノ方法等凡テ其時ノ景況ニ從ヒテ定メサル可カラス

**第三百三十七** 戦闘後ハ成ルヘク新銳ノ兵ヲ以テ前哨勤務ニ充ツルヲ可トス

前哨各部隊及哨兵ハ爲シ得ル限り其位置ヲ敵眼ニ觸レシメサルヲ要ス

前哨各部隊及哨兵ハ上官來ルモ敬禮ヲ行フコトナシ

**第三百三十八** 前哨ハ常ニ完全ナル戦備ヲ整ヘ敵襲ニ對シテハ全力ヲ竭シテ抗戦セサル可カラス之カ爲メ前哨各部隊ハ常ニ所要ノ工事ヲ爲シ且ツ各部隊間ニ通信連絡ノ設備ヲ爲スコト必要ナリ

凡テ前哨勤務ニ服スル部隊ハ決シテ自ラ無益ナル戦闘ヲ求ム可カラス是レ無益ノ小闘ハ全隊ノ静肅ヲ妨碍シ且ツ時トシテハ遂ニ前哨ノ抗拒シ得サル大戦ヲ惹起スルニ至ルノ虞アルヲ以テナリ

## 二 行軍前哨



イ 通 則

**第三百三十九** 敵軍ト未タ甚シク接近セス主トシテ敵ノ騎兵ニ對スル顧慮アルニ過キサル情況ニ於テ行軍ヨリ宿營ニ移リ翌日更ニ行軍ヲ繼續セントスル軍隊ハ單簡ナル方法ニ依リ警戒セハ可ナリ而シテ通常各宿營地毎ニ外衛兵ヲ以テ直接警戒ヲ爲ス外微弱ナル部隊ヲ前哨ニ任スルヲ以テ足レリトス

時宜ニ依リ整然タル警戒線ヲ設クルコトナク單ニ敵方ニ近キ各宿營地毎ニ警戒法ヲ設クルヲ以テ足レリト爲スコトアリ

**第四百十** 行軍中夜間宿營シ翌朝更ニ行進セントスル軍隊ト雖モ敵軍ニ接近シ且ツ不意ノ敵襲ヲ受クルノ危険大ナル情況ニ於

テハ其警戒モ亦從ヒテ嚴重ナラサル可カラス此ノ如キ場合ニ在リテハ警戒ノ目的ヲ達スル爲メ所要ノ前哨部隊ヲ配置シ要スレハ前哨ヲ數區ニ分チ各區ニ前哨司令官ヲ置キ之ニ各別ノ前哨部隊ヲ配屬ス

前哨區ノ境界ヲ定ムルニハ成ルヘク天然ノ地區、地物ニ依リ且ツ敵方ニ通スル主要ナル道路ヲシテ勉メテ各前哨區ノ中央ニ在ラシムルコトニ顧慮スヘシ

**第四百十一** 前哨ハ主トシテ歩兵ヲ以テ之ニ任スルモノトス而シテ搜索ニ任スル爲メ之ニ所要ノ騎兵ヲ附屬ス  
騎兵ノ數ニ乏シク或ハ全ク之ヲ前哨ニ屬セサルカ如キ場合ニ在



リテハ歩兵斥候ヲ以テ其力ノ及フ範圍内ノ搜索ヲ爲サシムヘシ  
機關銃ハ屢、有利ニ使用セラルルコトアリ

**第四百十二** 前哨ヲ配置スルニハ敵方ニ通スル主要ナル道路ヲ  
守備スル外敵ノ接近容易ナル地區及我軍ノ情況ヲ觀察シ得ル地  
點ヲ守備スルヲ要ス

**第四百十三** 前哨ハ通常分ツテ前哨本隊及前哨中隊ト爲ス而シ  
テ前哨本隊及前哨中隊ニハ所要ノ騎兵ヲ配屬シ搜索及傳令勤務  
ニ充ツルモノトス

前哨本隊ハ前哨ノ豫備ニシテ敵襲ニ際シ前哨中隊ヲ増援シ要ス  
レハ之ヲ收容スルモノトス之カ爲メ通常主要ナル道路ノ近傍ニ

シテ交通便利ナル地點ニ位置スルモノトス

前哨中隊ハ主要ナル警戒線ヲ形成スルモノニシテ敵襲ニ際シ之  
ヲ抗拒スルヲ任トス故ニ別命ナケレハ極力其位置ヲ保持スヘキ  
モノトス

前哨中隊ハ小哨ヲ出シテ警戒ス又情況ニ依リ前哨中隊ノ外、前  
哨本隊或ハ更ニ其後方ノ部隊ヨリ直ニ其前方若クハ側方ニ小哨  
ヲ配置スルコトアリ

**第四百十四** 前哨ニ配屬セラレタル騎兵ハ晝間遠ク前方ニ在リ  
テ搜索ニ従事ス而シテ夜間ト雖モ敵ト觸接ヲ絶タサランカ爲メ  
又ハ遠ク前方ニ在ル地點ヲ占領スルヲ可トスル等ノ場合ニハ其



一部ヲ警戒線ノ前方ニ於テ行動セシムルコトアリ

**第四百十五** 敵ト甚シク接近セスシテ一地ニ駐留シアル軍隊ノ警戒法モ亦行軍前哨ノ要領ニ準スルモノトス

ロ 行軍警戒ト駐軍警戒ト相互ノ轉移

**第四百十六** 前衛司令官ハ遅クモ駐止ノ命ヲ受クルト同時ニ當夜本隊及前衛本隊ノ宿營スヘキ地其他前衛ノ爲スヘキ事ニ就テ指示ヲ受クルモノトス

然ル後前衛司令官ハ成ルヘク速ニ宿營及警戒ニ關スル前衛命令ヲ下ス而シテ此命令ノ粗密ハ其時ノ情況ニ從フモノニシテ要スルニ前哨司令官ノ爲スヘキ處置ヲシテ最モ迅速ニ實施シ得セシ

ムル爲メ先ツ極メテ須要ノ事項ノミヲ指定スヘシ  
若シ前衛ノ全部ヲ以テ前哨ヲ備フルトキハ前哨命令ノミヲ下スヘシ

**第四百十七** 前條ノ前衛命令ニ於テ示スヘキ一般ノ事項ハ概ネ左ノ如シ

單簡ナル全體ノ情況（敵軍並我本隊、前衛本隊及前方ニ在ル騎兵ノ所在）

前哨司令官及其指揮ニ屬スル部隊

前哨司令官ノ任務及此任務ノ實施ニ要スル特別ノ指示（搜索及警戒勤務ニ關シ並敵襲ニ際シ取ルヘキ處置ノ爲メ殊ニ注意



スヘキ件)

後方部隊(前衛本隊等)ヨリ歩哨線ノ近傍ニ派遣スヘキ警戒隊  
アレハ其部隊號及任務等

前衛司令官ノ居處

前哨ヲ數區ニ分ツヲ要スルトキハ命令中明瞭ニ各區ノ境界ヲ指  
定スヘシ(第四百四十參看)

其後前哨ニ用ヒサル部隊ノ爲メ所要ノ命令ヲ下スモノトス

縦ヒ前哨ヲ配置スルモ本隊ノ指揮官及前衛司令官ハ廣大ノ地域  
ニ亘ル搜索及比隣部隊トノ連絡ニ就テ其責任ヲ有ス

第四百四十八 前哨司令官ハ前衛司令官ヨリ命令ヲ受ケタル後、

前哨ノ配置ニ關シ先ツ必要ノ命令ヲ下スヘシ(爲シ得レハ行軍  
中ニ於テ)而シテ此配置ニ關シテハ緊急ノ處置ヲ迅速ニ實行シ  
得セシムルヲ主要トス又此際特ニ注意スヘキハ敵トノ觸接ヲ維  
持シ若シ其觸接ヲ失ヒタルトキハ速ニ之カ回復ヲ圖ルニ在リ  
此處置ヲ迅速ニ實行シ得セシメンカ爲メ前哨全隊ニ合同ノ命令  
ヲ與フヘキカ若クハ各部隊各別ニ單簡ノ命令ヲ與フヘキカハ全  
ク時ノ情況ニ依ルモノトス  
何レノ場合ニ於テモ前哨司令官ハ部下各指揮官ニ其擔當スヘキ  
任務(殊ニ搜索ニ關スル要點及敵襲ニ際シ爲スヘキ動作)及所要  
ノ注意ヲ與フヘシ之カ爲メ前哨命令ニ於テ示スヘキ事項ハ概ネ



左ノ如シ

單簡ナル全體ノ情況（敵軍並我本隊、前衛本隊及前方ニ在ル騎兵並隣接前哨ノ所在）

前哨中隊ノ概略ノ位置及其警戒區域

前哨本隊ヨリ直接ニ出ス警戒兵ノ指定

敵襲ニ際シ取ルヘキ處置等

騎兵隊ノ任務及傳令騎兵ノ配屬

前哨本隊ノ位置及前哨司令官ノ居處

以上ノ諸件ヲ規定スルト同時若クハ前哨司令官現地ニ到リ情況ヲ視察シタル後概ネ左ノ諸件ヲ命ス

戰備ノ度ニ關スル必要ノ指示（第百六十參看）

連絡、通信設備、道路ノ閉塞等ニ關スル特別處置ノ指定

**第百四十九** 前哨ノ各部隊ハ命令ヲ受ケタル後直ニ各自ニ警戒法ヲ設ケ捷路ヲ取り其哨所ニ赴クヘシ

**第百五十** 行軍ヨリ駐軍ニ移ルニ際シ前方ニ派遣セラレアル前衛騎兵ハ別命ナキ時ト雖モ晝間警戒ニ便ナル要點ニ位置シテ搜索ニ從事ス其動作ハ概ネ獨立セル騎兵ノ前哨ニ準スルモノトス而シテ此騎兵ハ後ニ至リ通常前哨司令官ノ指揮ニ屬シ日没ニ及ヒ前哨本隊ノ附近ニ歸來シ宿營スルモノトス

**第百五十一** 宿營セル軍隊更ニ前進セントスルトキハ通常前哨



ヲ其地ニ駐在セシメ其掩護ニ依リ新ニ編成シタル前兵ヲ前進セシメ然ル後前哨ヲ撤スルモノトス

ハ 前哨司令官及前哨本隊

**第二百五十二** 前哨司令官ハ前哨本隊ノ宿營法、戰備ノ度及直接ノ警戒法等ヲ規定ス

**第二百五十三** 前哨司令官ハ部下ヲシテ勉メテ速ニ炊爨ヲ爲シ成ルヘク速ニ休憩ニ就クヲ得セシメ以テ常ニ銳氣ヲ養ハシムヘキコトヲ忘ル可カラス  
情況ニ依リ後方ニ於テ炊爨ヲ爲シ前方部隊ニ分配スルヲ可トスルコトアリ此場合ニ於テモ先ツ最前方部隊ヲシテ第一ニ喫食シ

得セシムヘク分配スヘシ

**第二百五十四** 前哨司令官ハ前哨各部ノ配置能ク形勢ニ適フヤ否ヤニ就テ其責ニ任シ特ニ相隣スル前哨トノ連絡及各前哨中隊間ノ連繫ヲ確實ナラシムヘシ

**第二百五十五** 前哨司令官ハ通常前哨本隊ト共ニ位置スルモノトス

前哨司令官ハ勉メテ其定位置ニ在ルヲ要ス若シ各哨所ノ警戒法ヲ監視シ又ハ其他ノ事ニ關シ自ラ現地ニ臨ムノ必要アルトキハ故參ノ將校ヲシテ代リテ其職務ヲ執ラシムヘシ此規定ハ前哨中隊長及小哨長ニモ亦適用ス



**第二百五十六** 前哨司令官ハ成ルヘク速ニ其取リタル配置ヲ前衛司令官ニ報告スヘシ而シテ前哨中隊其他ヨリ配置ニ關スル報告到達セハ更ニ之ヲ補足スルモノトス

ニ 前哨中隊

**第二百五十七** 前哨中隊ノ數及其配置ハ敵情、地形殊ニ道路網ノ形狀ニ從フモノトス

前哨中隊ニハ特別ノ番號ヲ附スルコトナク各、其中隊ノ番號（前哨第何中隊）ヲ稱フルモノトス

**第二百五十八** 前哨中隊長ハ成ルヘク速ニ其中隊ノ位置及警戒法ヲ定メ各、其配備ニ就カシメ然ル後現地ヲ偵察シテ所要ノ修正

ヲ爲シ且ツ敵襲ニ際シ取ルヘキ處置、所要ノ工事等ヲ決定ス

**第二百五十九** 前哨中隊長ハ成ルヘク速ニ其取リタル配置要スレハ夜間ニ至リ變更スヘキ配置ノ豫定ヲ單簡ナル要圖ト爲シ之ニ必要ナル説明ヲ附シテ前哨司令官ニ報告シ且ツ比隣ノ前哨中隊及前方ニ在ル騎兵ニモ亦中隊配置ノ大要ヲ通報スヘシ

**第二百六十** 前哨中隊長ハ其中隊各部ノ配置及諸勤務ヲ定メ又時ノ形勢ト前哨司令官ノ指示トニ應シテ必要ナル戰備ノ度（中隊及小哨ヲ掩蔽下ニ入ラシムヘキヤ否ヤ、天幕ヲ使用スヘキヤ否ヤ、中隊ノ下士兵卒ノ一部ニ假眠ヲ許スヤ否ヤ、炊爨、焚火等）ヲ規定シ敵襲ニ際シ中隊ノ常ニ必ス戰備ヲ缺カサルコトニ關シ



テハ身ヲ以テ其責ニ任スヘシ而シテ中隊長ハ地形ヲ偵察シ若クハ小哨ノ警戒法ヲ監視スル爲メ現地ニ臨ム時ノ外常ニ中隊ノ位置ニ在ルヘシ

前哨中隊ニ在ル下士兵卒ハ通常背囊ヲ卸ス然レトモ其一部ハ常ニ又銃線ノ側ニ在リテ戰備ヲ怠ル可カラス而シテ任務ノ爲メカ或ハ許可ヲ得ルニ非サレハ一人ト雖モ哨所ヲ離ルルヲ許サス又之ニ屬スル騎兵ハ鞍ヲ卸スヲ許サス然レトモ交互ニ鞍ヲ改装シ飼付及水飼ヲ爲サシムルヲ要ス

前哨中隊ハ其隊ヲ直接警戒スル爲メ銃前哨(單哨)ヲ備フ若シ中隊掩蔽下ニ在ルトキハ之ヲ複哨トス又地形甚タ陰蔽ノ爲メ之ヲ

要スルトキハ數箇ノ單哨若クハ複哨ヲ配置ス

**第六十一** 軍使來リシトキハ前哨中隊長ハ步哨線外ニ於テ其來意ヲ聽キ軍使ハ直ニ歸去セシメ後之ヲ前哨司令官ニ報告スヘシ

前哨中隊長ハ小哨ヨリ送付シ來リタル者ニシテ我軍ニ屬スルヲ確認スル能ハス或ハ疑ハシキ者、降參人及我軍ニ屬スル間諜(其眼ヲ縛シ)ハ所要ノ護衛兵ヲ附シ直ニ前哨司令官ニ送付スヘシ而シテ護衛兵ハ之ト談話ス可カラス

ホ 小 哨

**第六十二** 小哨ハ切要ナル道路又ハ要點ノ警備ニ任ス



小哨ハ一ノ前哨中隊中ニ於テ右翼ヨリ順序ニ番號ヲ附スルモノトス

**第六十三** 小哨ハ最前線ニ在リテ警戒ヲ擔任ス故ニ小哨長ハ注意周密ニシテ職務ニ勤勉ナルヘク下士兵卒ハ精神ヲ奮勵シ監視ヲ嚴密ニセサル可カラス

小哨ニハ小隊或ハ其以下ノ兵力ヲ用ヒ其重要ノ度ニ應シ將校又ハ下士ヲ以テ長ト爲ス

**第六十四** 小哨ハ爲シ得ル限り黄昏前ニ其占ムヘキ地點ニ位置シ能ク地形ヲ認識シ且ツ所要ノ工事ヲ施スヲ要ス

**第六十五** 歩哨ノ配置宜シキヲ得レハ多ク小哨ノ兵力ヲ減セ

スシテ能ク警戒ヲ嚴ニス

歩哨ヲ配置スルニハ必スシモ其線ヲ連續セシムルヲ要セス主トシテ敵方ニ通スル道路並重要ノ地點ヲ警備スヘシ而シテ其間ノ空隙ハ所要ニ從ヒ斥候及巡察ヲ派遣シテ之ヲ監視セシムヘシ

小哨長ハ歩哨ノ數、人員及位置ヲ定ム而シテ歩哨ハ複哨（二人乃至四人）ト爲シ或ハ時宜ニ依リ下士哨ト爲スコトアリ

**第六十六** 特別ニ重要ナルカ或ハ交代不便ナル地點ニハ下士哨ヲ用フヘシ此下士哨ノ人員ハ其任務ニ依リ差違アリト雖モ少クモ下士（時宜ニ依リ上等兵）一人兵卒六人ヲ以テシ通常其二人ハ監視ニ任シ爾餘ハ直接其近傍ニ位置シテ成ルヘク遮蔽シアル



ヲ要ス但シ銃ハ必ス之ヲ手ニシアルヘシ

**第六十七** 小哨ヨリ交代スヘキ複哨ハ其小哨ヲ距ルコト約四百米ヲ超エサルヲ通常トス

**第六十八** 歩哨ノ配置法ハ通常一哨所ニ屬スル兵卒（交代兵共）ヲ歩哨掛又ハ下士哨長タル下士或ハ上等兵ニ引率セシメ小哨ノ位置ヨリ同時ニ捷路ニ依リ豫メ指示シタル地點ニ就カシム而シテ小哨長ハ各哨所ニ到リ歩哨掛又ハ下士哨長ニ守則ヲ授ケ且ツ兵卒ニモ聽聞セシムヘシ然ル後歩哨掛又ハ下士哨長ハ小哨長ヨリ受ケタル守則ヲ歩哨及其交代兵ニ能ク記憶理解セシム而シテ下士哨ハ其地ニ留マリ歩哨掛ハ交代兵ヲ率キテ小哨ニ歸ル

モノトス

一哨所ニ屬スル歩哨ノ交代法ハ小哨長之ヲ定ムルモノトス

**第六十九** 小哨長ハ歩哨ノ員數及其位置ヲ初ヨリ概定スル能ハサルトキハ豫想セル配置人員ヲ率キ必要ナル部分ヨリ逐次ニ之ヲ配置スヘシ

**第七十** 歩哨ハ各小哨毎ニ複哨ト下士哨トヲ通シテ右翼ヨリ順序ニ番號ヲ附スルモノトス

**第七十一** 歩哨配置ノ間ハ前方ニ斥候ヲ派遣シテ警戒スヘシ而シテ歩哨ノ配置終レハ小哨ハ銃ヲ銃架ニ託シ若クハ又銃ヲ爲シ所要ノ銃前哨ヲ備ヘ以テ小哨直接ノ警戒ニ任セシム



**第七十二** 小哨長ハ歩哨ニ充テサル者ヨリ若干ノ斥候ヲ區分シ尙殘餘ノ兵ヲ以テ其他ノ勤務ニ充ツルモノトス而シテ歩哨ノ交代兵中同時ニ交代スヘキ者及各斥候毎ニ又銃シ若クハ銃ヲ銃架ニ託シ置クヘシ

**第七十三** 小哨ニ在ル下士兵卒ハ小哨長ノ命令ニ依リ背囊ヲ卸スヲ得然レトモ帶革(銃劍、彈藥盒共)、雜囊及水筒ハ各自常ニ其身體ニ纏フヘシ

小哨長ハ下士兵卒休憩ノ比例ヲ平等ナラシムルコトニ注意スヘシ

小哨ニ在ル者ハ夜間睡眠セサルヲ本則トス但シ時宜ニ依リ下士

兵卒ノ一部ヲシテ假眠セシムルコトヲ得

任務ノ爲メカ或ハ許可ヲ得ルニ非サレハ一人ト雖モ小哨ヲ離ルルヲ許サス

**第七十四** 小哨長ハ成ルヘク速ニ單簡ナル要圖ヲ以テ其配置ヲ中隊長ニ報告シ且ツ相隣スル小哨ト連絡スヘシ

**第七十五** 小哨長ハ歩哨ヨリ報告シ來リタル者ニシテ我軍ノ者タルコト判然疑ヒナシト認定スレハ歩哨線ノ通過ヲ許スヘシ其我軍ニ屬スルヲ確認スル能ハス或ハ疑ハシキ者ハ所要ノ護衛兵ヲ附シ直ニ之ヲ前哨中隊ニ送付スヘシ降參人及我軍ニ屬スル間諜(其眼ヲ縛シ)モ亦然リ而シテ護衛兵ハ之ト談話ス可カラス



步哨ヨリ軍使ノ來リシコトヲ報告セシトキハ小哨長ハ之ヲ前哨中隊長ニ報告スヘシ

**第七十六** 晝間ニ於テ小哨ヲ配置セシトキハ小哨長ハ天光ノ有ル限リ警戒區域内ヲ巡視シテ地形ヲ認識スヘシ但シ常ニ其所在ヲ明カニスヘシ而シテ夜間ハ其小哨ノ位置ニ在ルヲ原則トス又小哨長ハ敵襲ニ對シテ常ニ必ス小哨ノ戰備ヲ缺カサルヲ以テ責任ト爲スヘシ

へ 步 哨

**第七十七** 步哨ハ成ルヘク十分ナル展望ヲ有シ且ツ敵眼ヲ避ケ得ヘク位置スルヲ要ス特ニ晝間步哨ノ一人ハ樹木、家屋、堆土

等ヲ利用シ望遠鏡ニ依リテ監視ニ任スルヲ可トス此場合ニ於テハ容易ニ敵ニ發見セラレサル爲メ哨所附近ノ地物ト同色ノ物件ヲ以テ步哨ノ身邊ヲ掩フヲ利トスルコトアリ

凡テ高所ニ在ル步哨ハ火光、焰氣ヲ視、響音ヲ聽クニ利益アリトス又夜間低地ニ在ル者ハ敵ヲ空際ニ透視シ得ルノ利アリ

**第七十八** 步哨線ニ在ル步哨ノ一般守則左ノ如シ

步哨ハ絶エス敵軍ノ方向ヲ監察シ凡テ疑ハシキ徵候ニ深ク注意シ若シ敵ニ關シテ發見セシ事アレハ速ニ其一人ハ小哨ニ報告スヘシ若シ猶豫セハ危殆ニ陥ルト認メシトキハ連續數發ノ射撃ヲ爲シテ警報シ且ツ其一人ハ小哨ニ報告スヘシ而シテ敵



ノ單獨兵又ハ數人ヨリ成ル斥候ノ如キハ之ヲ射殺又ハ捕獲スルコトヲ圖ルヘシ  
 晝間ハ我軍ノ將校、部隊、斥候及傳令ニ步哨線ノ出入ヲ許ス爾餘ノ者ノ通過ニ關シテハ凡テ小哨長ノ指示ヲ受クヘシ而シテ步哨ノ命スル所ニ從ハサル者アレハ之ヲ射擊スヘシ  
 夜間步哨ニ近ツク者アレハ銃ヲ構ヘ「誰カ」ト問フ若シ呼フコト三次ニ至ルモ尙答ヘサルトキハ射擊スヘシ凡テ其他ノ處置ハ晝間ノモノニ異ルコトナシ  
 白旗ヲ翻ヘシ遠方ヨリ軍使タルコトヲ標シ來ル者アルトキハ之ヲ待遇スルニ敵ヲ以テセス之ヲ步哨線外ニ留メ小哨長ニ報

告スヘシ此規則ハ敵ノ單獨兵銃ヲ投棄シ或ハ遠方ヨリ降參人タルコトヲ標シ來ル時ニモ亦適用ス然レトモ降參人ニシテ武器ヲ携帶シアルトキハ先ツ之ヲ放棄セシムヘシ  
 步哨ハ喫烟シ或ハ銃ヲ手ヨリ放スヲ許サス又命令アルニ非サレハ坐臥スルヲ得ス而シテ晝間立銃ヲ爲スカ或ハ提銃ヲ爲スカ若クハ腕ニ銃ニ銃口ヲ前ニシ略々水平ニ腕ニ託スヲ爲スヘキカハ其隨意トス然レトモ夜間ハ擔銃、提銃又ハ腕ニ銃ヲ爲スモノトス若シ上官ヨリ質問アレハ監視ヲ中止スルコトナクシテ之ニ答フヘシ

**第七十九** 小哨長ハ步哨ノ特別守則ヲ定メ一般守則ヲ補足ス



特別守則ニ含有スヘキ事項概ネ左ノ如シ  
其歩哨ノ番號

敵情

前方ニ在ル我部隊及斥候ノ情況

特ニ監視スヘキ區域及必要ナル道路、村落等ノ名稱

隣歩哨ノ位置、番號及之トノ連絡法

小哨並中隊ノ位置及此各位置ニ通スル捷路

其他歩哨ノ人員ニ應シ如何ニ監視スヘキカ等須要ノ事ニ關スル  
守則ヲ定ムヘシ

第八十 歩哨ハ我歩哨線ヲ出發スル斥候ニ自己ノ見聞セシ情

況ヲ告ケ斥候ノ受ケタル任務及歸來ノ時刻、場所等ノ概要ヲ聽  
キ又歸來スル斥候ヨリ其見聞セシ事件ヲ聽取スルモノトス

第八十一 歩哨ノ交代ハ新舊兩兵敵ノ方向ニ面シテ位置シ舊  
歩哨ハ新歩哨ニ其服務中見聞セシ事件ヲ傳告スヘシ但シ此交代  
ニハ必ス歩哨掛ノ立會ヲ要ス

第八十二 銃前哨ノ動作及守則ハ歩哨ニ準ス但シ凡テノ報告  
ハ通常其位置ヲ離ルルコトナク之ヲ爲スモノトス

ト 斥候、巡察

第八十三 斥候ノ任務及其動作ハ敵情並地形ニ應シテ異ルモ  
ノトス



斥候ハ進退動作ニ深ク注意シ靜肅ニシテ喧噪ス可カラス又屢駐止シテ響音ヲ聽取シ能ク地形ヲ諳識スヘシ是レ地形ニ就テノ解説ヲ爲シ且ツ時宜ニ依リ郷導ト爲リ得ンカ爲メナリ而シテ要スレハ往路ト異ル歸路ヲ擇ヒ敵ニ中斷セラルル危険ヲ避クヘシ  
歩哨線前ノ地域ヲ監視スル爲メ某地點ニ斥候ヲ駐止セシメ又敵兵ヲ捕獲スル爲メ之ヲ潜伏セシムルヲ有利トスルコトアリ特ニ夜間ニ於テ然リトス而シテ此斥候ハ敵襲ヲ知リシトキハ射撃ヲ以テ警報スヘシ  
斥候歸著ノ時刻ハ概定スルヲ可トス又其時ノ形勢ニ從ヒ背囊ヲ脱セシメ或ハ馬裝ヲ輕便ニシテ派遣スルヲ得

凡テ斥候ハ歩哨線ヲ通過スル時其近隣ノ歩哨ニ任務ノ概要及歸來ノ時刻並場所ヲ告ケ其歩哨ノ見聞セシ新情況ヲ聽取シ歸路ニハ敵ニ關シテ見聞セシ事件ヲ單簡ニ告知スヘシ  
斥候ノ歸路往路ト異ルトキハ之ヲ派遣シタル小哨長等ハ其歸路ヲ監視スル歩哨ニ斥候ノ歸來スル概略ノ時刻等ヲ豫メ告知シ置クヲ要ス夜間ニ在リテハ殊ニ然リトス

**第八十四** 巡察ハ前哨各部隊ヨリ出ス而シテ其任務ハ歩哨線内ヲ巡視シ各哨所及歩哨ヲ監視シ且ツ歩哨ヲ配置セサル土地ヲ搜索シ比隣哨所ト連絡ヲ通スルニ在リ而シテ其人員ハ臨時之ヲ定ムルモノトス



歩哨線ニ於テ射撃或ハ喧噪セシ時ニ於テモ亦巡察ヲ派遣シ其事  
實ヲ究メ且ツ歩哨ヲ援助セシムルコトアリ

### 三 戦闘準備前哨

**第百八十五** 軍隊敵ニ近ク宿營シ戦闘準備ヲ必要トスル場合ニ  
於ケル前哨ノ配置、區分及其勤務ハ專ラ戰鬥上ノ顧慮ニ基キテ  
之ヲ定メ其警戒ハ敵ニ關スル顧慮多キニ從ヒ益々嚴ナルヲ要スレ  
敵ト接近シ永ク相對峙スルトキハ一層警戒ヲ嚴ニシ前哨線ハ相  
連絡シテ空隙ナキヲ要シ其他種々特別ノ部署ト工事トヲ施スヲ  
必要トスルニ至ル

**第百八十六** 前哨ハ主トシテ歩兵ヲ以テ之ニ任シ之ニ所要ノ機

關銃及騎兵ヲ屬ス然レトモ時宜ニ依リ砲兵及工兵ヲ配屬シ尙野  
戰電燈ヲモ附屬スルヲ利トスルコトアリ而シテ歩兵ノ兵力ハ警  
戒ヲ要スル度大ナルニ從ヒ益々強大ナラシメサル可カラス

**第百八十七** 前哨各部隊ハ警戒ノ嚴ナルヲ要スルニ從ヒ漸次距  
離及間隔ヲ閉縮シ抗戰ニ適スル陣地ニ接近シテ配置シ敵襲ニ際  
シテ直ニ密接セル防禦線ヲ形成シ得ルヲ要ス

情況ニ依リ前哨各部ノ區分ヲ省略シ其全部若クハ一部ハ防禦陣  
地ヲ占領シテ警戒スルコトアリ此場合ニ於テハ單ニ前方及側方  
近距離ニ小部隊若クハ歩哨、斥候等ヲ出シテ警戒スルモノトス  
**第百八十八** 前哨各部隊ハ爲シ得ル限り必要ノ工事ヲ施シ以テ



強硬ナル抗戦ヲ準備シ又各部隊間ニ技術的通信機關ヲ設備シテ迅速確實ナル連絡ヲ圖ルヲ要ス

**第百八十九** 村落或ハ森林等ノ如キ蔭蔽甚シキ地ヲ貫通シテ前哨ヲ配置スルトキハ前哨各部隊ハ其区内ノ地理ヲ諳ンシ暗夜ト雖モ行動ニ混雜ナカラシメンカ爲メ道標ヲ設ケ交通路ヲ開ク等所要ノ設備ヲ爲スコトヲ怠ル可カラス

**第百九十** 歩哨ハ互ニ近ク相接シテ配置シ以テ一人モ歩哨ノ眼ヲ逃レ或ハ其射撃ヲ受ケスシテ其線ヲ通過スルコトヲ得サラシムヘシ故ニ夜間又ハ濃霧等ノ際ハ時宜ニ依リ更ニ近ク歩哨ヲ相接セシムルヲ要スルコトアリ

歩哨モ亦掩護物ヲ探求シ或ハ特ニ設置シテ之ニ據ラシムヘシ

**第百九十一** 前哨司令官若クハ前哨中隊長ハ夜間互ニ相知ルコトヲ容易ナラシメンカ爲メ一定ノ低音ナル口笛ヲ用ヒ若クハ互ニ氏名ヲ呼フ等ノ識別記號ヲ定メ或ハ時宜ニ依リ識別徽章ヲ規定スルヲ可トスルコトアリ

**第百九十二** 對陣久シキニ渉ル時要スレハ最高級指揮官ハ暗黒中ノ認識ニ要スル暗號ヲ選ヒ之ヲ指定ス

此ノ如キ場合ニ在リテハ歩哨(巡察等)ハ先ツ「誰カ」ト問ヒ其答ニ依リ我軍ノ者タルヲ認知セシ後更ニ「暗號ニ進メ」ト呼ヒテ之ヲ確認スヘシ暗號ヲ唱フル聲音ハ唯歩哨(巡察等)ノ能ク之ヲ聞



キ得ルヲ以テ度トスヘシ

我軍ノ者タルヲ認知スト雖モ暗號ヲ知ラス或ハ暗號ノ不正ナル者ハ先ツ其地ニ停止セシメ小哨長ノ指示ヲ受クヘシ若シ遁逃セントスルノ狀アルトキハ之ヲ射撃スヘシ

**第九十三** 前哨部隊ノ配置數日ニ涉ルトキハ之ヲ交代セシムルヲ可トス就中小哨ハ概ネ二十四時間以内ニ交代セシムルモノトス

小哨ノ交代ハ靜肅且ツ蔭蔽シテ之ヲ爲スヘク此際警戒ヲ中絶セサルコト緊要ナリ

舊小哨長ハ成ルヘク豫メ新小哨長ニ緊要ノ事件ヲ傳告シ然ル後

協同シテ歩哨ヲ交代スヘシ舊歩哨掛又ハ下士哨長モ亦新歩哨掛又ハ下士哨長ニ其守則及特別ニ知ルヲ要スル事件ヲ傳告スヘシ此交代ト同時ニ新舊兩哨ヨリ共同ノ斥候ヲ派遣ス是レ新哨ノ斥候ヲシテ歩哨線前ノ地形ヲ諳識セシメンカ爲メナリ凡ソ交代ハ拂曉ニ於テ之ヲ終ルヲ可トス然レトモ時刻ノ選定ハ特ニ其時ノ景況ニ依ルモノトス

**第九十四** 前諸條ノ外前哨ノ部署、隸屬並勤務ノ要領ハ行軍前哨ノ部ニ掲クル規定ヲ準用スヘシ

#### 四 獨立セル騎兵ノ前哨

**第九十五** 騎兵集團又ハ騎兵旅團等獨立シテ宿營スルニ方リ



警戒ノ爲メニ要スル兵力及部署ハ其時ノ形勢ニ從ヒ變化スト雖モ前哨勤務ハ馬匹ヲ疲勞セシムルコト大ナルヲ以テ勉メテ其兵力ヲ節約シ通常縱長區分ノ前哨配置ヲ爲スコトナク成ルヘク諸種ノ補助手段ニ依リ警戒ヲ完ウスルコトヲ圖ラサル可カラス

**第九十六** 騎兵ハ搜索ヲ以テ最モ重要ナル警戒方法ト爲ス之

カ爲メ晝夜搜索ヲ中絶セサルコト肝要ナリ

最前線ヨリスル報告ノ傳達ヲ迅速ナラシムルコトハ特ニ重要ナリトス之カ爲メ技術的通信方法ヲ講スルコト極メテ緊要ナリ

**第九十七** 敵ト接近セル時及居民敵意ヲ有スルトキハ單ニ前哨ヲ配置スルヲ以テ足レリトセス尙數多特別ナル方法ヲ以テ宿

營地ヲ警戒セサル可カラス故ニ此場合ニ於ケル騎兵ノ警戒勤務ニハ終始間斷ナキ奮勵ヲ要ス

**第九十八** 前哨ハ局地ヲ利用シテ防禦工事ヲ施シ(縱ヒ其構造單簡ナルモ)火器ヲ使用スルヲ有利トス蓋シ此ノ如クスルトキハ長時間能ク優勢ノ敵騎ヲ拒止スルヲ得ヘシ

村落ヲ堅固ニ防禦スルニハ其周圍或ハ直前ニ防禦工事ヲ施シ障礙物ヲ設ケ道路ヲ閉塞スルヲ要ス(我兵ノ通過ヲ妨ケサルコトニ注意スヘシ)而シテ警戒ニ任スル部隊ハ直ニ銃ヲ携ヘテ防禦線ニ就キ得ル如ク戦闘準備ヲ整ヘアルヘシ

馬匹ハ敵ニ反スル方向ニ位置セシメ所要ノ監視兵ヲ附スヘシ



**第九十九** 連續セル長大ナル警戒線ハ之ヲ數箇ノ前哨區ニ區分ス

一前哨區ノ警戒ニハ騎兵一中隊(前哨騎兵中隊)又ハ之ヨリ小ナル部隊ヲ用フルモノトス又要スレハ之カ第一ノ支援タラシムル爲メ最前方村落ニ宿營スル部隊ニ戰鬪準備ヲ爲サシメ置クコトアリ(控兵)而シテ別ニ前哨本隊ヲ置クコトナシ

**第二百** 前哨騎兵中隊ハ通常直ニ下士哨又ハ騎哨ヲ配置シ特ニ緊要ナルトキハ小哨ヲ分遣ス而シテ此等ノ各哨ハ馬匹ヲ後方部隊ノ位置ニ殘置シ徒歩ニテ服務セシムルヲ可トスルコトアリ前哨騎兵中隊ハ通常鞍ヲ卸スヲ許サス又直接警戒ノ爲メ所要ノ

銃前哨ヲ備フ

**第二百一** 小哨ノ兵力ハ一小隊以下トシ其重要ノ度ニ應シ將校又ハ下士ヲ以テ長ト爲シ之ヨリ所要ニ應シ下士哨又ハ騎哨ヲ出シテ監視ニ任ス

小哨ハ要スレハ銃前哨ヲ備フ

**第二百二** 下士哨ハ下士若クハ上等兵一人及兵卒三人以上ヨリ成リ通常其二人ヲ以テ監視ニ任ス

騎哨ハ通常二人若クハ三人ヨリ成ルモノトス

**第二百三** 下士哨及騎哨ヲ配置スル爲メ注意スヘキ要旨ハ勉メテ遠ク展望セシムルニ在リ之カ爲メ望遠鏡ヲ携帯セシムルヲ可



トス若シ遮蔽物アリテ展望十分ナラサルカ若クハ夜間ニ於テハ少クモ道路ヲ監視セシムヘシ  
騎哨乗馬シアルトキハ揚銃ヲ爲シ又ハ銃ヲ鞍上ニ横フルモノトス

**第二百四** 前哨ハ晝間監視線ヲ擴張スル爲メ下士哨及騎哨ヲ夜間ノ位置ヨリモ更ニ前方ニ派遣スルコトアリ  
又夜間ト雖モ前方ノ要點ニ斥候ヲ駐止セシメ置クヲ可トスルコトアリ

**第二百五** 前哨騎兵中隊長及小哨長ハ任務ト情況トニ從ヒ分遣セル各哨ニ特別守則ヲ與ヘ其交代法、人馬ノ休憩、鞍ノ改装、

馬匹ノ飼付、炊爨、焚火等ニ關シテ規定ス又時機ヲ失セス敵ノ行動ヲ偵知シ部下ヲシテ常ニ戰鬪準備ヲ整ヘシメ敵襲ニ方リテハ之ヲ拒止シ後方部隊ヲシテ之ニ應スル時間ノ餘裕ヲ得セシムルコトニ關シ身ヲ以テ其責ニ任セサル可カラス

**第二百六** 騎兵集團、騎兵旅團等敵ト遠隔セル時ニ於テハ固有ノ前哨ヲ配置スルノ外前方ニ派遣シアル搜索隊ト連絡スルヲ要ス

搜索隊遠ク前方ニ在ル主要ノ地點(隘路等)ヲ占領スルトキハ敵ヲ抗拒シ或ハ少クモ其前進ヲ遲滞セシムルヲ得ヘシ  
騎兵旅團以下ノ部隊ニ在リテモ亦前項ノ目的ノ爲メ一部隊ヲ遠



ク前方ニ派遣スルヲ可トスルコトアリ

**第二百七** 以上掲クル外獨立セル騎兵ノ前哨各部ノ勤務ハ凡テ歩兵ノ爲メニ掲ケタル規定ノ趣旨ニ從フモノトス

## 第五篇 行軍

### 第一章 通則

**第二百八** 行軍ハ凡テノ作戰ノ基礎ヲ成スモノニシテ其實施ノ確實ナルハ諸般ノ企圖ニ好果ヲ獲ルノ要素ナリ

**第二百九** 平時行軍ニ慣熟シタル軍隊モ動員ニ方リテハ勞苦嚴格ノ慣習ヲ失ヒタル在郷兵及乘御輓曳ノ調教ヲ經サル徵發馬匹ノ加ハルカ爲メ大ニ行軍力ヲ減殺セラル故ニ動員ニ際シ苟モ練習ノ時間ヲ得ハ之ヲシテ行軍ニ習熟セシムルヲ圖ルヘシ就中徒歩兵ニ於テ此注意ヲ緊要トス



**第二百十** 行軍中軍紀ヲ嚴格ニシ人馬ノ衛生特ニ徒歩兵ノ靴傷、馬匹ノ鞍傷及四肢ノ疾病ニ注意シ又其給養ヲ良好ナラシムルハ行軍力ヲ保持シ且ツ之ヲ増進スルニ最モ有效ノ方法ナリ兵卒及馬匹ニ就キ行軍中絶エス被服、裝具、蹄鐵ニ注意シ特ニ休憩中及宿營ニ於テ兵卒自ラ足部ノ保護、馬匹ノ愛護ニ關シ適當ノ注意ヲ爲スヤ否ヤヲ監察シ且ツ此等ノ事ヲ忽ニスル者ナカラシムルハ中隊長及之ニ準スル部隊長ノ責任トス

**第二百十一** 行軍ニ慣熟シタル軍隊ニシテ各人深ク注意シ勉メテ徒勞ヲ避クレハ永ク缺員ヲ生セスシテ行軍スルヲ得ヘシ

## 第二章 行軍ノ種類

**第二百十二** 旅次行軍ハ敵ニ觸接スヘキ虞ナキ時ニ於テ行フモノニシテ主トシテ軍隊ヲ休養スルコトニ顧慮スルモノトス之カ爲メ有效ナル方法ハ軍隊ヲ分ツテ小ナル編合部隊ト爲シ或ハ各部隊毎ニ行進セシメ且ツ各自其宿營地ヨリ宿營地ニ至ル最近且ツ便利ノ道路ヲ取ラシムルニ在リ蓋シ行軍縱隊ノ大ナルニ應シテ撞著ヲ起スコト愈、多ク其影響モ亦從ヒテ甚シク且ツ夏季ニ於テハ炎熱ノ害ヲ受クルコト益、大ナレハナリ

**第二百十三** 戰備行軍ハ敵ニ觸接スヘキ虞アル時ニ於テ行フモノニシテ戰鬪準備ヲ主トスルモノトス之カ爲メ諸部隊ヲ集結シテ大ナル戰術上ノ編合ト爲シ行軍序列ヲ定メ且ツ警戒法ヲ設ケ



又要スレハ縦隊ノ長徑ヲ減縮スヘシ

**第二百十四** 旅次行軍ト戰備行軍トヲ問ハス情況ニ依リ急行若クハ強行ヲ必要トスルコトアリ此ノ如キ場合ニ於テハ行軍間ノ休日ヲ廢シ且ツ其行程ヲ増大シ或ハ爲シ得ル限り休憩時間ヲ減少シ尙夜間ニ於テモ行軍ヲ繼續スルモノトス  
夜行軍ハ右ノ外敵ニ對シ我行動ヲ祕匿スル爲メ又ハ往々炎熱時ニ於テ晝間ノ行軍ニ代ヘ之ヲ行フコトアリ

### 第三章 行軍隊形

**第二百十五** 歩兵ノ行軍隊形ハ側面縦隊トス

行軍中ハ下士、缺伍ノ兵卒、上等看護卒等モ皆四人ヲ以テ一伍

ヲ作ルヘシ喇叭手ノ位置ハ大隊長之ヲ定ム其中一人ノ喇叭手ヲ大隊（或ハ獨立中隊）ノ後尾ニ行進セシムヘシ是レ道路ノ一側ヲ虛ツスルコト殊ニ須要ナルトキハ附近ニ在ル將校ノ指示ニ依リ「右」或ハ「左」ノ譜ヲ吹奏セシメンカ爲メナリ此號音ヲ聞クトキハ行軍縦隊中ノ諸兵ハ之ニ從ヒ嚴ニ其一側ニ偏スヘキモノトス  
中隊長及小隊長ハ行軍中其中隊若クハ小隊ヲ監視スルニ便利ナル位置ニ在ルヘシ然レトモ一將校ハ中隊ノ後尾ニ在リテ行進スヘシ

歩兵機關銃隊ノ行軍隊形ハ縦隊トシ銃隊長以下ノ位置ニ關シテハ歩兵中隊ニ準ス而シテ警戒上妨ケナケレハ銃手及彈藥小隊ノ



兵卒（馭卒ヲ除ク）ヲ先頭ニ集メテ行進セシムルコトアリ喇叭手、上等看護卒等ノ位置ハ歩兵隊ニ準シ銃隊長之ヲ定ムルモノトス

**第二百十六** 騎兵ノ行軍隊形ハ四伍縦隊若クハ二伍縦隊トス

中隊長及小隊長ハ其中隊若クハ小隊ヲ監視スルニ便利ナル位置ニ在ルヘシ而シテ中隊ノ後尾ニハ時宜ニ依リ歩兵ト同シク將校及喇叭手各、一人ヲ行進セシムルコトアリ

騎兵機關銃隊ノ行軍隊形ハ縦隊トス

**第二百十七** 砲兵ノ行軍隊形ハ砲車縦隊トス

中隊長及小隊長ハ其中隊若クハ小隊ヲ監視スルニ便利ナル位置

ニ在ルヘシ然レトモ一將校ハ通常中隊ノ後尾ニ在リテ行進スルモノトス砲車長及其他ノ諸長ハ其車（馬）ノ前後ニ在リテ行進スルコトヲ得

砲手ハ警戒上妨ケナケレハ其大部ヲ中隊ノ先頭ニ集メテ行進セシムルコトアリ

中隊ノ後尾ニハ通常歩兵ト同シク喇叭手一人ヲ置クモノトス

**第二百十八** 工兵ノ行軍隊形ニ關シテハ歩兵ノ爲メニ規定シタルモノニ準ス但シ小隊長及特務曹長ノ位置ハ中隊長之ヲ定ムルモノトス

**第二百十九** 「速歩」（徒歩兵種）又ハ「氣ヲ著ケ」（乘馬兵種）ヲ以



テ行進スルトキハ通常各人ハ操典ニ定ムル位置ヲ占メ中隊長ハ其中隊ノ先頭ニ在ルモノトス

#### 第四章 行軍準備

**第二百二十** 行軍ニ際シ徒勞ヲ避クルニハ特ニ出發時刻及出發ノ爲メ集合方法ノ規定ニ注意スルヲ要ス

大部隊ヲシテ一ノ集合場ヨリ逐次一隊毎ニ出發セシムヘキトキハ出發ノ順序ニ應シ集合場ニ到着スヘキ順序ヲ適當ニ規定スルヲ要ス而シテ合シテ一縱隊ト爲ルヘキ各部隊ハ行軍スヘキ方向ニ於テ集合セシムルヲ原則トス

行軍ニ關スル命令ヲ作爲スルニハ各部隊ノ行軍長徑（附錄第四

參看）、行進速度及其集合場ニ至ル距離ニ顧慮スルヲ要ス

**第二百二十一** 出發時刻ノ選定ハ早キニ過ク可カラス若シ作戰上ノ要求ニ妨ケナキトキハ第一ニ出發スル歩兵ト雖モ成ルヘク拂曉以前ニ出發セシム可カラス騎兵及砲兵ニ在リテハ多クハ拂曉一時間後ニ出發セシムルヲ可トス然レトモ拂曉前ニ熟地ヲ出發スルハ日暮後生地ニ到着スルニ優レリトス

**第二百二十二** 行軍ノ爲メ軍隊ノ集合法ハ戰術上ノ顧慮、其部隊ノ大小及地形ニ依ルモノトス（集合ニ要スル幅員概數ハ附錄第五參看）

大部隊ヲ一地ニ集合スルノ利益ハ出發ノ時刻ニ至ル迄各部隊ヲ



直接ニ掌握シ最新ノ情報ニ基キ現時ノ情況ニ最モ適合スル如ク行軍ヲ區處シ得ルニ在リ然レトモ此集合法ハ軍隊ヲシテ永ク集場合場ニ駐止セシムルノ害アルヲ以テ特ニ敵ニ接近セル場合ニ於テノミ用フヘキモノトス

故ニ時ノ形勢ニ從ヒ部隊毎ニ集場合場ヲ定メ以テ行軍序列ニ適應セシムルヲ可トス例ヘハ師團ニ在リテハ前衛ヲ一團トシ本隊先頭ノ歩兵及砲兵ヲ以テ一團トシ其他ヲ以テ又一團トシ之ニ各一箇ノ集場合場ヲ定ムルカ如シ若シ部隊小ナレハ行軍隊形ヲ以テ路上ニ集合スルヲ得ヘシ

何レノ集合法ヲ問ハス行李及輜重ヲ以テ軍隊ノ行動ヲ妨碍セサ

ルコトニ特ニ注意スルヲ要ス

大部隊ノ集場合場ニシテ其位置ヲ地圖ニ依リテ判然指示スル能ハサルトキハ豫メ現地ニ標示スヘシ又要スレハ道路ヨリ集場合場ニ至ル新道ヲ開設スヘシ

### 第五章 行軍序列

**第二百二十三** 警戒隊（前衛等）ノ行軍序列ハ其指揮官之ヲ規定シ本隊ニ在リテハ全隊ノ指揮官之ヲ規定ス

行軍序列ヲ規定スルニハ主トシテ豫メ考定セシ軍隊使用上ノ順序ニ從フモノトス故ニ通常本隊ノ先頭ニハ前衛ノ歩兵隊ト同聯隊若クハ同旅團ニ屬スル歩兵隊ヲ行進セシメ野戰砲兵ハ其警戒



ノ許ス限リ前方ニ在リテ行進セシムヘシ而シテ長大ナル野戦砲兵ノ行軍縦隊ニ在リテハ其中間ニ歩兵ノ小部隊ヲ行進セシメ以テ警戒ヲ完ウスルヲ可トス

**第二百二十四** 野戦砲兵ノ中隊段列ハ通常大隊毎ニ一團ト爲シ高級故參ノ段列長ノ指揮ニ屬シ中隊ノ行軍序列ニ從ヒ大隊戰砲隊ノ直後ニ跟隨ス

聯隊段列ハ通常師團戰列部隊ノ直後ニ在リテ行進ス而シテ要スレハ特ニ其位置ヲ指示ス

聯隊段列ハ一部ヲ砲兵大隊若クハ中隊ニ分屬スルコトアリ此場合ニ於テ其位置ハ前項ニ準ス

**第二百二十五** 野戦重砲兵ノ觀測小隊ハ一團ト爲リ通常所屬隊ノ先頭ニ在リテ行進ス然レトモ情況ニ依リ前衛ト共ニ行進セシムルコトアリ

野戦重砲兵ノ段列ハ野戦砲兵ノモノニ準ス

**第二百二十六** 電話隊ハ戰鬪又ハ宿營ニ移ルニ方リ遲滯ナク電話線ノ架設ニ著手シ得ル如ク通常本隊ノ前方ニ在リテ行進セシム時宜ニ依リ其一部若クハ全部ヲ前衛ト共ニ行進セシムルコトアリ

**第二百二十七** 衛生隊ハ通常軍隊區分ニ依リテ編合セラレタル部隊ノ後尾ニ在リテ行進ス



**第二百二十八** 架橋縦列ハ其一部若クハ全部ヲ前衛或ハ本隊若クハ大行李ノ後方ニ在リテ行進セシムルコトアリ

**第二百二十九** 計手、隊外從卒、徒步隊附工長、騎兵及騎砲兵ノ徒步兵等ハ其所屬部隊大行李ノ前方ニ在リテ行進スルモノトス而シテ此等ノ人員ハ行軍ニ關シテ大行李長ノ區處ヲ受クルモノトス

**第二百三十** 以上掲クル所ハ前進行ノ場合ニ於ケル規定トス側敵行及退却行ノ場合ニ於テモ亦本章規定ノ趣旨ニ準シ行軍序列ヲ定ムヘシ

## 第六章 行軍實施

**第二百三十一** 軍隊出發後道路ニ出ツレハ徒步兵種ニ在リテハ「途步」、爾餘ノ兵種ニ在リテハ「休メ」ノ號令若クハ號音ヲ傳フ是ニ於テ歩ヲ調フルヲ要セス特別ノ時ヲ除クノ外ハ談話シ唱歌シ喫煙スルヲ許シ刀ハ鞘ニ納メ銃ハ各兵ノ欲スル所ニ從ヒ（要スレハ中隊長之ヲ規定ス）右肩、左肩ニ擔ヒ或ハ負革ヲ以テ肩ニ懸クヘシ而シテ軍隊ハ路上便利ナル側方ヲ擇ヒ行進スヘク若シ道路ノ兩側便利同シキ時及他部隊ニ遭遇セシトキハ行進方向ニ對シテ道路ノ右側ヲ行進スヘシ行軍中背後ニ從フ諸部隊ハ皆先頭部隊ニ準スヘク且ツ兵卒ハ勉メテ前後ニ重疊シ以テ縦隊面ヲ擴張セサルコトニ注意スヘシ



廣キ街道ニ於テハ常ニ其一側ヲ虚ウシ他部隊ノ通過ニ供スヘク  
狭キ道路ニ在リテモ單獨ノ乘馬者ヲシテ縦隊ノ行進ヲ妨碍スル  
コトナク疾走スルヲ得セシムヘシ又其部隊ニ屬スル乘馬將校ニ  
在リテモ其虚ウセル側方ニ出ツルハ唯一時通行ノ時ノミタルヘ  
シ行軍縦隊ノ大ナル時ニ在リテハ殊ニ然リトス道路ノ景況ニ依  
リ或ハ炎熱ノ時ニ在リテハ行軍縦隊ヲ兩側ニ分チ中央ヲ虚ウス  
ルヲ可トスルコトアリ

各個人恣ニ服裝ヲ紊スヲ禁ス然レトモ襟ヲ開クカ如キ許スヘキ  
事件ハ其時機ヲ誤ラス速ニ指揮官ヨリ全隊ニ令スヘシ  
兵卒若シ已ムヲ得ス隊列ヲ離ルルヲ要スルトキハ小隊長（小隊

長近傍ニ在ラサルトキハ分隊長又ハ之ニ準スル諸長）ノ許可ヲ  
受クヘシ

**第二百三十二** 縦隊中ノ一部隊ニ生スル行軍長徑ノ變化ハ縦ヒ  
小ナルモ漸次他ノ諸部隊ニ關係ヲ及ホスコト大ナルヲ以テ兵卒  
ハ勉メテ歩度ヲ齊一ニシ以テ伍間ノ距離ヲ伸縮セサルコトニ注  
意スヘシ又行軍長徑ノ變化ヲ調節スル目的ヲ以テ各部隊間ニ一  
定ノ距離ヲ存スルヲ要ス即チ左ノ如シ

歩兵、工兵中隊後ニ 十步

歩兵、工兵大隊並騎兵中隊後ニ 二十步

歩兵、騎兵聯隊並砲兵中隊後ニ 三十步



砲兵聯（大）隊並聯隊段列後ニ

四十步

旅團後ニ

六十步

其他隊間距離ノ規定ナキ部隊ニ在リテハ其長徑ノ大小ニ從ヒ前記ノモノニ準スヘシ

乘馬將校、喇叭手、副馬等ハ皆縱隊ノ長徑中ニ算入シ之ヲ隊間距離中ニハ算セサルモノトス

**第二百三十三** 各部隊間ニ前條ノ距離ヲ置キ且ツ先頭部隊ノ步度ヲ齊一ニ保ツトキハ行軍縱隊ニ起リ易キ處止或ハ急進ノ害ヲ防キ得ルモノトス故ニ行軍長徑愈、大ナルニ從ヒ先頭部隊ハ益、步度ヲ齊一ナラシムルニ注意シ後方部隊ハ隊間距離ヲ絶エス墨

守セス又絶エス伸縮スルコトナク以テ撞著ノ爲メ一時生シタル列伍ノ伸縮ヲシテ容易ニ他部隊ニ波及セシメサルヲ要ス

**第二百三十四** 大部隊ハ一吉米ヲ行クニ良好ノ景況ニ在リテ約十三分間ヲ要スヘシ

徒歩兵ノ背囊ヲ脱シテ別ニ之ヲ運送スレハ著シク行軍ヲ容易ニシ從ヒテ行軍力ヲ増加スヘシ然レトモ之カ爲メ行李ヲ増大スルニ至ルヲ以テ非常ノ場合ニシテ且ツ小部隊ニ於テノミ實施スルヲ得ヘシ

**第二百三十五** 行軍ノ急速ヲ要スルトキハ先ツ徒歩兵ヲシテ勉メテ澁滞ナク行進セシムヘシ而シテ乘馬者及車輛ヲシテ行軍縱



隊ノ中間或ハ其先頭ニ行進セシムルトキハ徒歩兵ノ運動ヲ妨碍スルニ至ルモノトス  
若シ他ニ妨碍アルニ非サレハ騎兵ハ歩兵ノ前方ニ行進セシムルヲ可トス

**第二百三十六** 時宜ニ依リ開進ヲ速ニスル爲メ行軍縱隊ヲ短縮スルヲ要スルコトアリ之カ爲メ正面ヲ廣クシ若クハ行軍縱隊ヲ並列シ或ハ部隊間ノ距離ヲ短縮ス

**第二百三十七** 行軍縱隊内ニ在ル砲兵ヲ前方ニ招致スルニ方リテハ歩兵トノ行進交叉ヲ防止スル爲メ砲兵ハ歩兵ノ何レノ側方ヲ通過スヘキヤヲ命令スルヲ可トス若シ行進交叉ヲ避ク可カラ

サルニ方リテハ歩兵ヲシテ砲兵ノ間隙ヲ急速ニ通過セシムヘシ之カ爲メ要スレハ歩兵ハ中隊縱隊又ハ併立縱隊ニ閉縮シテ通過スヘシ此規定ハ歩兵相互間又ハ異兵種間ノ行進交叉ノ場合ニモ亦準用ス

**第二百三十八** 夜行軍ヲ爲スニ方リテハ暗夜ト雖モ其定メタル方向ヲ確實ニ保持スル爲メ必要ナル百般ノ規定ヲ爲スコトニ特ニ注意セサル可カラス即チ縱隊中ノ集結ヲ正シク保持シ縱隊ニ郷導ヲ附シ且ツ後續部隊ヲシテ進路ヲ誤ラシメサル爲メ所要ノ地點ニ連絡兵ヲ殘置シ若クハ適宜ノ標識ヲ爲スコト等ニ注意スルヲ最良ノ方法トス其他道路ノ障碍ヲ除キ或ハ之ヲ迂回シ以テ



兵卒疲勞ノ原因タル撞著ノ患ヲ除キ且ツ休憩ハ成ルヘク時間ヲ短縮シ回数ヲ増加スル等ノ處置ヲ必要トス又敵ノ近傍ニ在リテハ靜肅ニ行進スルヲ以テ缺ク可カラサルコトトス  
乘馬兵ニ在リテハ馬裝ノ不整、騎手ノ假眠等ニ依リ鞍傷、冠膝等ヲ生シ易キヲ以テ特ニ注意ヲ要ス

**第二百三十九** 行軍スル軍隊ノ大患ト爲スモノハ炎熱及沍寒ナリ而シテ炎熱ノ際ニ在リテハ徒歩兵、沍寒ノ際ニ在リテハ乘馬兵ハ殊ニ困難ヲ感シ之カ爲メ僅少ノ時間ニ於テ多數ノ列兵ヲ減スルコトアリ宜シク深ク豫防法ニ注意スヘシ  
炎熱ニ際シ特ニ恐ルヘキハ喝病ナリ而シテ其豫防法ハ行軍中適

度ニ飲水ヲ爲サシムル外成ルヘク列伍ヲ疎開シ帽ノ頤紐ヲ上ケ襟ヲ開カシメ又情況ニ依リ夜間ヲ利用シ若クハ晝間ノ酷暑時ヲ避クルヲ可トス尙成ルヘク睡眠ノ不足ナカラシメ又空腹ナラシメス且ツ屢々休憩セシムルヲ肝要トス

飲水供給ノ爲メニハ出發前必ス水筒ヲ充填セシメ又豫メ乘馬將校等ヲ先遣シ住民ヲ促シ路側ニ水桶ヲ備ヘシムヘシ而シテ小部隊ハ暫時駐止シテ全隊ニ飲水セシムルコトヲ得ヘシ然レトモ大部隊ニ在リテハ前後ノ部隊撞著スルノ虞アルヲ以テ此法ヲ用ヒ難シ故ニ行軍中ニ水ヲ得テ之ヲ飲ミ且ツ其携帶スル水筒ニ貯フルノ方法ニ依ラサル可カラス



軍隊沸水車ヲ携行スルトキハ之ヲ使用シ成ルヘク生水ヲ用ヒシメサルヲ要ス

沍寒ニ際シ最モ恐ルヘキハ凍死、凍傷ニシテ殊ニ夜行軍ニ於テ甚シトス而シテ其豫防法ハ野外ニ於ケル休憩ヲ短クシ勉メテ運動ヲ爲サシメ特ニ時々手ヲ動カシ得ル爲メ銃ハ負革ニテ肩ニ懸ケシムルヲ可トス又常ニ空腹ナラシメサルヲ要ス爲シ得レハ休憩ノ際成ルヘク熱キ湯茶ヲ給シ又被服特ニ手套、靴下等ノ濕潤スルトキハ成ルヘク速ニ之ヲ交換セシムヘシ而シテ身體濕潤ノ時若クハ甚シク凍痛ヲ感スル時直接ニ火熱ニ觸レシム可カラス又屋外ノ睡眠ト酒類ノ飲用トヲ嚴禁シ卸、紐ノ解脫ナキコトニ

注意シ且ツ常ニ手足耳鼻就中足尖ヲ凍傷ニ罹ラシメサルニ注意スルヲ緊要トス

乘馬隊ニ在リテハ下馬行軍ヲ行フヲ以テ凍傷ニ對スル最モ有利ナル豫防法トス

**第二百四十** 道路不良ナルカ或ハ炎熱ノ時若クハ積雪甚シキ時ニ在リテハ先頭部隊ヲ時々交代セシムルヲ要ス又強風ニ際シテハ風位ニ面スル一側ヲ行進スル兵卒ヲモ時々交代セシムルヲ可トス

強風殊ニ砂塵飛揚スル場合及積雪ノ地ニ在リテハ眼鏡若クハ眼鏡ヲ使用シ又炎熱ニ際シテハ帽ニ垂布ヲ使用スルヲ可トス



**第二百四十一** 軍隊軍橋ヲ渡過スルニ方リテハ之ヲ主管スル橋梁哨（附録第六參看）長ノ指定スル軍橋渡過ノ注意ヲ遵守スヘキモノトス故ニ部隊長等ハ軍橋ニ達スル前豫メ該指定ヲ知得スルコト必要ナリ

**第二百四十二** 縦列材料ヲ以テ架設セル軍橋ヲ渡過スル軍隊ハ通常本篇第三章ニ掲クル行軍隊形ヲ以テシ且ツ橋梁ノ中央部ヲ行進スルモノトス

凡テ乘馬者ハ下馬スルコトナシ然レトモ成ルヘク軍橋ニ達スル前若干ノ距離ヲ常歩ニテ行進シ以テ馬匹ヲ沈靜ナラシムヘシ又輜重車輛及凡テノ乘馬、駄馬ハ互ニ適當ノ距離ヲ以テ行進セシ

メ馬匹騷擾等ノ爲メ隊列ヲ擾亂シ軍橋ノ毀損ヲ招クコトナカラシムルヲ要ス

人馬及車輛等ハ縦ヒ其前方ノ距離ヲ失フコトアルモ決シテ軍橋上ニ於テ之ヲ回復スルコトヲ圖ル可カラス

大隊長（騎兵、砲兵ニ在リテハ中隊長）、機關銃隊長及各縦列長等ハ當該部隊ノ軍橋ヲ通過シ終ル迄軍橋ノ入口ニ在リテ部下ノ渡橋ヲ監視スヘキモノトス又其出口ニモ監視者ヲ配置スルヲ要ス但シ當該部隊長自ラ之カ監視ヲ爲シ能ハサルトキハ其入口ニモ亦監視者ヲ配置スルモノトス

**第二百四十三** 徒涉場ヲ通過スルニ際シテハ情況之ヲ許セハ徒



歩兵ヲ先ニシ乘馬兵、車輛ヲ後ニスヘシ

流速大ナルトキハ軍隊ヲ幅廣キ密集セル小群ニ分チ每群間ニ若干ノ距離ヲ存シテ通過セシメ各兵ヲシテ水面ヲ諦視セシム可カラス又徒歩兵ハ手又ハ腕ヲ以テ互ニ相連結スルヲ可トス

彈藥ノ濕潤ヲ避クル爲メニハ豫メ之ヲ背囊ニ收メシムルカ又ハ舟筏等ニ積載シテ渡過セシムヘシ

**第二百四十四** 氷上ヲ通過スルニハ成ルヘク灰、木屑、土砂、藁等ヲ撒布シ或ハ十字釘等ヲ以テ氷面ヲ粗ニシ以テ人馬ノ滑走ヲ豫防スヘシ若シ抗力十分ナラサルトキハ氷厚ノ増加ヲ圖リ或ハ板、梯子等ヲ敷キ若クハ各兵ノ距離、間隔ヲ疎開スルヲ要ス

**第二百四十五** 舟筏ニ依リ水流ヲ渡過スル軍隊ハ通常渡河ヲ掌ル工兵將校ノ區處ニ從ハサル可カラス之カ爲メ渡河軍隊ノ指揮官ハ豫メ該將校ニ就キ渡場ノ位置、舟筏ノ搭載量及乗船上陸法其他渡河ニ關スル必要ノ規定ヲ承知シ乗船前舟筏ノ搭載量ニ應シ軍隊ヲ區分シ且ツ指示セラレタル規定ニ從ヒ所要ノ準備ヲ整フルヲ要ス

軍隊ハ順序ニ從ヒ乗船シ又上陸ニ際シテハ速ニ上陸點ヲ離レ以テ混雜ヲ豫防セサル可カラス

航行中ハ何人ト雖モ其位置ヲ離レ若クハ姿勢ヲ變スルヲ許サス又特ニ漕手ノ動作ヲ妨碍セサルコトニ注意スヘシ



縦列材料ヨリ成ル全形舟及門橋ノ搭載量並之ニ依ル乗船上陸法  
ハ附録第七ヲ參看スヘシ

### 第七章 休憩

**第二百四十六** 發程後約一時間ヲ經レハ服裝、馬裝等ノ改裝及  
兩便ニ要スル適當ナル少時間ノ休憩ヲ行ヒ其他行程ノ遠近ト天  
候ノ良否等トニ應シテ一回若クハ數回ノ休憩ヲ爲スヲ要ス若シ  
一回ナルトキハ路程ノ過半ヲ經過シタル後ニ於テシ數回ナルト  
キハ概ネ一時間毎ニ於テスルヲ適當トス  
凡テ軍隊駐立スルコトナク直ニ休憩ノ地ヲ占メンカ爲メニハ豫  
メ乘馬將校ヲ先遣シ其地ヲ擇ハシムルヲ可トス

敵ニ關スル顧慮少ク且ツ道路ヲ閉塞スルノ虞ナキトキハ軍隊ノ  
休止及又銃若クハ下馬ハ行軍隊形ノ儘直ニ路傍若クハ路上ノ一  
側ニ於テシ以テ速ニ休憩ニ移ラシムヘシ此場合ニ於テハ特ニ他  
部隊或ハ乘馬者ノ通行ヲ自在ナラシムルコトニ注意スヘシ然レ  
トモ長時間ノ休憩ニ際シテハ道路外適當ノ場所ヲ選ヒ一地又ハ  
數地ニ開進シテ行フヲ可トスルコトアリ  
其他休憩地ノ選定ハ季節及天候ノ景況ニ從ヒ兩便、飲水、蔭影  
及風雨ノ蔽庇等ニ注意スヘシ  
休憩ヲ規定スルニハ徒ニ繁雜ノ動作ヲ爲シテ休憩時間ヲ減スル  
等ノコトナカラシムヘシ又休憩ノ際ニハ豫メ休憩時間ヲ列兵ニ



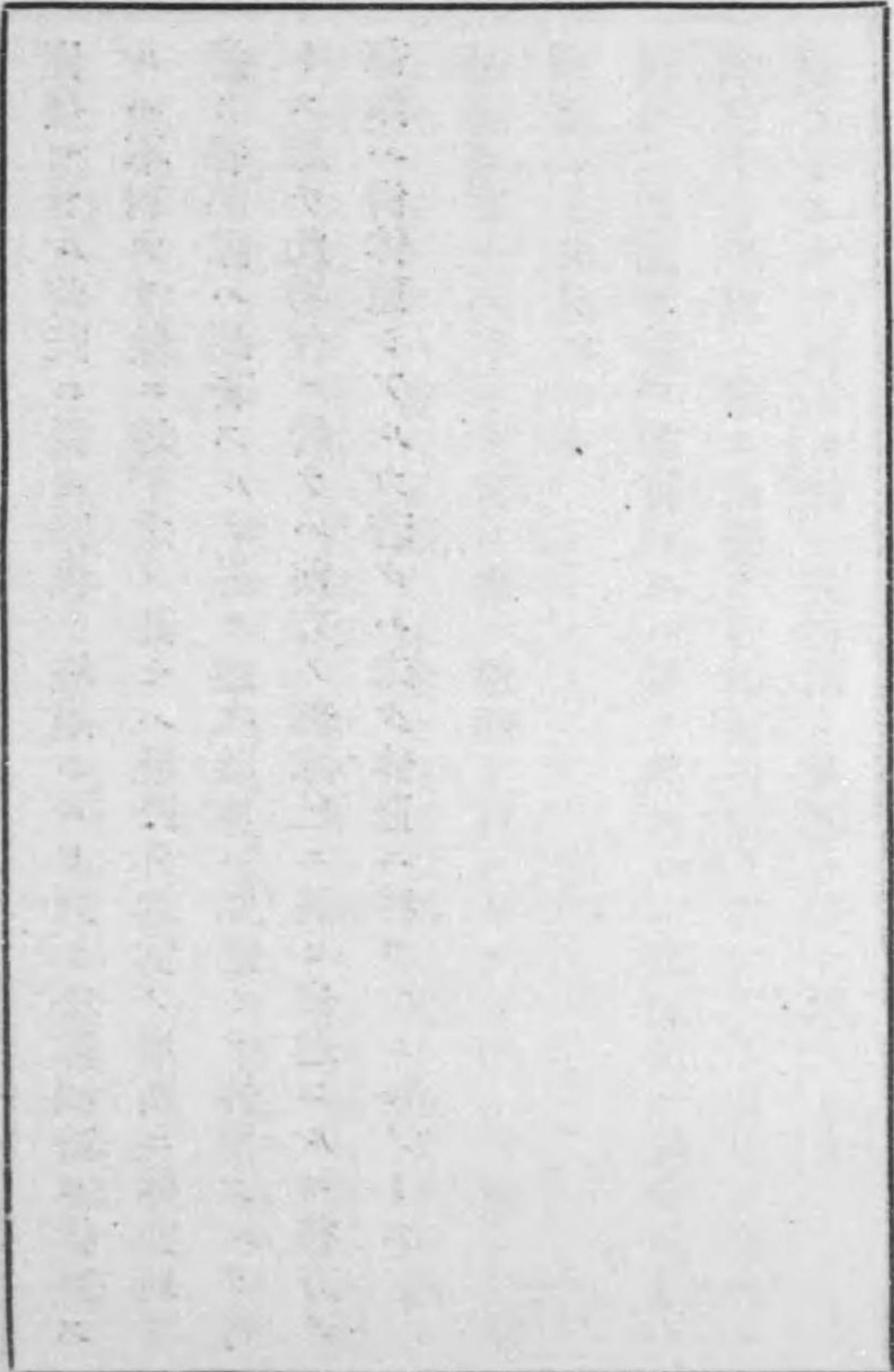
知ラシムルヲ可トス特ニ長時間ノ休憩ニ於テ然リトス  
休憩中各部隊ハ常ニ所要ノ直接警戒法ヲ設クヘシ又敵ノ近傍ニ  
於テハ戦闘準備ヲ確實ニスル爲メ要スレハ部隊毎ニ適宜縦長ヲ  
短縮シテ休憩スヘシ

休憩間下士兵卒ハ上官ニ對シ敬禮ヲ行ハサルヲ例トス而シテ徒  
歩兵ニ在リテハ特ニ足部ノ保護ニ注意シ乘馬兵ニ在リテハ常ニ  
下馬シテ馬匹ヲ愛護シ暑熱烈シキトキハ特ニ休憩毎ニ馬匹ニ少  
量ノ水ヲ與フルコトヲ怠ル可カラヌ又稍、永キ休憩ヲ爲ストキ  
ハ馱馬ノ積載物ヲ卸下スヘシ

**第二百四十七** 大部隊ニ在リテハ先頭部隊ハ其後方部隊ノ未タ

出發セサル前既ニ長キ路程ヲ經過スルヲ以テ全隊同時ニ休憩ス  
ルハ不利ナリ故ニ地形之ヲ許セハ道路外適當ノ場所ニ休憩地ヲ  
選ヒ各部隊ハ到着スルニ從ヒ逐次該地ニ開進シテ休憩スルヲ可  
トス即チ此場合ニ於テハ前方ノ部隊已ニ再ヒ發途スルモ後方ノ  
部隊ハ尙休憩シアルカ若クハ未タ休憩ニ移ラサルモノトス





第六篇 宿營

第一章 通則

第二百四十八 宿營ノ種類、宿營地ノ位置及廣狹ハ主トシテ戰術上及休養上ノ顧慮ニ基キ之ヲ定ムルモノトス

第二百四十九 舍營ハ戰鬪ノ準備容易ナル能ハスト雖モ風雨ヲ障蔽シテ人馬ヲ休養シ需要品ノ補充、調理並裝具、被服ノ補修ニ便ナルヲ以テ極メテ惡キ舍營モ人馬ノ休養上ヨリスレハ尙露營ニ優レリトス故ニ苟モ戰術上妨ケナケレハ宿營ハ舍營ヲ以テ最良トス



**第二百五十** 敵ニ接近セルカ或ハ大部隊ヲ稠密ニ集合スルヲ要スルカ若クハ其地方ニ家屋ノ乏シキカ爲メ舍營ヲ爲ス能ハサルトキハ村落露營ヲ爲スヘシ村落露營ハ戦闘準備ヲ殆ト露營ニ同シカラシメタル場合ニ於テモ尙軍隊休養上ニ於テハ之ニ優ルモノトス

**第二百五十一** 敵ニ觸接シ戰術上ノ顧慮ヨリ夜間尙一定ノ地域ニ位置セサルヲ得サル時或ハ舍營スヘキ住民地ニ乏シク他ニ方法ナキトキハ露營ヲ爲スモノトス

**第二百五十二** 宿營ノ内務及其外部ノ警戒ニ關スル方法ハ凡テ其時ノ形勢ニ從フモノトス

**第二百五十三** 宿營ニ於テ行李及其馬匹ヲ監視シ厩舎（馬繫場）及飼付等ニ深く顧慮シ以テ馬匹ノ状態ヲ善良ニ保持セシムルハ凡テ當該部隊長ノ任トス

**第二百五十四** 戰時ニ於テハ休日ヲ豫定スルコト能ハサルヲ以テ苟モ機會ヲ得ルトキハ常ニ之ヲ人馬ノ休養及兵器、材料、被服、裝具ノ補修並蹄鐵ノ改裝等ニ利用スヘシ而シテ駐留久シキニ涉ルトキハ此間ヲ以テ人馬ノ教育ヲ爲スヘキモノトス

**第二百五十五** 敵ニ接近シアルトキハ宿營ニ移ルノ際之ヲ要スレハ適當ノ警戒法ヲ設クルコトニ注意スヘシ

**第二百五十六** 行軍ヨリ宿營ニ移ルニ際シテハ時機ヲ失セス其



區處ヲ爲シ以テ軍隊ヲシテ速ニ宿營ニ就クヘキ準備ヲ爲サシムヘシ之カ爲メ爲シ得レハ行軍中ニ於テ宿營ニ關スル命令ノ要旨ヲ各部隊ニ指示シ以テ各部隊ヲシテ無益ニ駐止スルコトナカラシムルヲ要ス而シテ後刻更ニ完全ナル命令ヲ與フルモノトス地圖ナキカ或ハ其不完全ナル地ヲ行進スル軍隊ハ豫メ適當ノ乘馬將校ヲ派遣シ宿營及警戒ノ目的ヲ以テ要圖ヲ作ラシメ之ニ依リテ諸配置ヲ爲スヲ緊要トス

## 第二章 舍營

### 一 配宿

**第二百五十七** 敵ト觸接スヘキ虞ナキトキハ軍隊ノ休養及需要品ノ供給ニ便ナル如ク舍營スルヲ緊要トス而シテ其舍營地ノ廣狹ハ駐留舍營ニ在リテハ部隊ノ大小ト統御ノ便トヲ顧慮シ又行軍舍營ニ在リテハ行軍縱隊ノ長徑ト再ヒ集合ニ要スル時間トニ應シ之ヲ畫定スヘシ

軍隊ノ配宿法ハ宿營地到着時ノ軍隊區分ニ依ルカ若クハ爾後ノ行軍ノ爲メニスル軍隊區分ヲ顧慮シテ之ヲ定ムルヲ可トス敵ト接近スルニ至レハ主トシテ戰術上ノ顧慮ニ基キ宿營地ヲ決定ス故ニ其宿營ハ相密集シ而シテ強大ナル歩兵隊ヲ最前線ノ村落ニ置キ砲兵ハ決シテ之ヲ孤立セシメス騎兵ハ其安全ト休養ト